

徳島新未来創生総合計画 評価シート

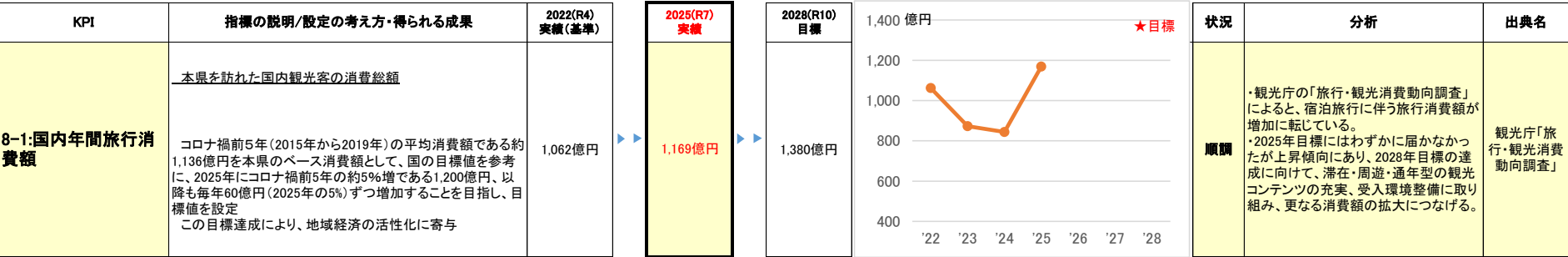
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

観光産業の生産性・収益向上等により、「稼げる産業」へと変革

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
高付加価値なコンテンツ整備	新時代の「阿波・徳島」観光コンテンツ整備事業	県内の宿泊者数や観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、自然・歴史文化・スポーツ・ウェルネス・スピリチュアル・ユニークベニューといった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援した。	○テーマ別観光コンテンツづくり支援事業 ・補助金交付状況:4件、3,897千円	R6年度に立ち上げた観光推進PTでの検討を踏まえ、「自然」「歴史・文化」「スポーツ」「ウェルネス」「スピリチュアル」「ユニークベニュー」といった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援する。
・高付加価値なコンテンツ整備 ・新たなキャンペーンの展開	周遊促進！徳島観光しやすい事業	周遊観光を促進するため、DMOが実施するファムツアーや海外メディア取材受入、デジタルマーケティング推進に対する支援を行った。 また、本県への団体バス旅行を催行する旅行会社へ支援を行った。	○イーストとくしま観光推進機構 ・ファムツアー主催・提案:8件 ・海外メディア取材受入:7件 ・ツーリズムEXPO等商談会参加 ・万博を契機としたデジタルプロモーション ・デジタルマーケティング推進 ○補助金交付実績:バス228台、7,130人	県が主体となった県内DMOの連携構築の場である「徳島県DMO観光推進協議会」を核に、県内の「周遊性・滞在性」を高める旅行商品の開発や「サステナブルツーリズム」の確立等を推進する。
新たなキャンペーンの展開	新時代の「阿波・徳島」プロモーション事業	徳島の観光資源を有効活用し、国内外からの観光誘客を図るため、首都圏における観光商談会や各種メディアプロモーションを実施した。	○首都圏プロモーション ・観光PR動画の作成及びメディア広告 ・コンセプトツアー造成 ・キックオフイベント/交通広告の実施 ○オール徳島観光商談会の開催 ・日時:令和7年5月15日 ○メディアプロモーション(JAL・ANA) ・機内誌の記事掲載 ・機内スクリーン広告 ・大塚美術館貸切ツアーの実施 ・羽田乗継割引実施及び専用LP制作 ・羽田空港第二ターミナル及び北海道3空港でのサイネージ展開 ・DPクーポン発行及び専用LP制作 ・外部ディスプレイ広告の実施 ・ターゲティング広告の実施	首都圏の主要ターミナルや公共交通を戦略的に活用し、観光コンテンツのほか、食や物産などを一体的かつ集中的に発信するほか、メディアを活用したプロモーションの強化を図るため、県が運営するSNS等のクオリティの向上や、テレビや映画のロケ地として徳島を売り込むための支援制度により、本県の魅力と認知度の向上に繋げる。
国際MICEの誘致促進	コンベンション誘致促進事業	会場施設をはじめ、宿泊・飲食・交通など幅広い業種における地域経済の活性化が大きく期待できる中四国会議以上のコンベンションについて助成し、開催支援や宣伝活動を行うことにより、コンベンションの誘致を行った	○コンベンション参加人数:25,963人 ○助成件数:45件	県観光協会と連携し、助成制度を活用した開催支援の周知を図るとともに、県内大学への助成制度の説明会や学会本部・旅行会社等への個別営業を実施していく。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

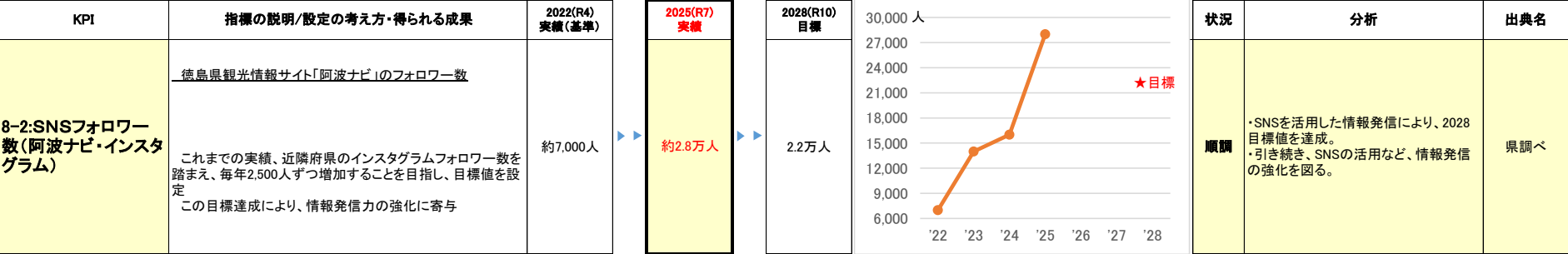
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

誰もが「何度も行きたい」と思える魅力的な場所・機会が創出され、国内外からのたくさんの人出で賑わっている

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
新たなキャンペーンの展開	魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客事業	県外からの観光誘客を図るため、WEBやSNSを活用し、旬な観光情報の発信を行った。	○県観光情報サイト「阿波ナビ」Instagram ・フォロワー数：約28,000	ターゲットごとに有効なアプローチは多様化しており、既存のツールでの旬な観光情報を発信するとともに、インフルエンサーや観光大使の活用、SNS記事の共同投稿や、相互SNSタグ付け、特集記事紹介などにより、情報発信の記事内容を充実させる。
	観光情報提供費	観光客の誘致促進、受入体制の充実を図ることを目的に、各種宣伝媒体等を通じて観光情報の提供等を実施した。	○徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」 ・総アクセス件数：約4,667,000件	

徳島新未来創生総合計画 評価シート

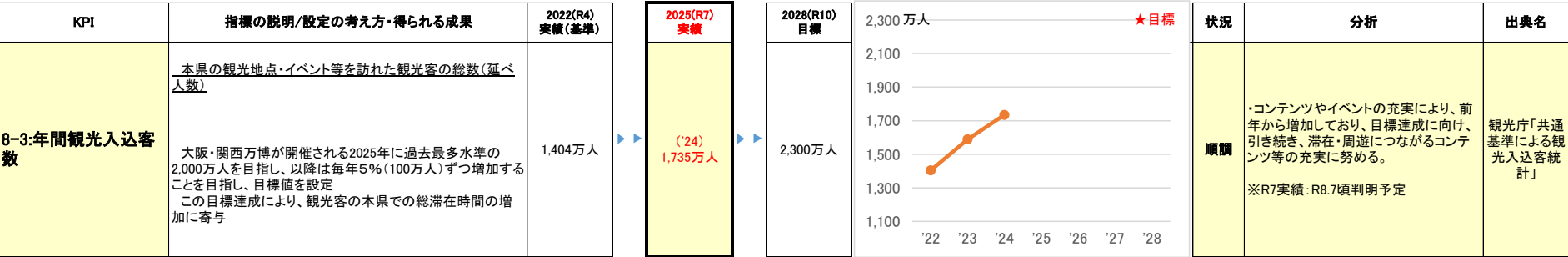
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

誰もが「何度も行きたい」と思える魅力的な場所・機会が創出され、国内外からのたくさんの人出で賑わっている

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
高付加価値なコンテンツ整備	新時代の「阿波・徳島」観光コンテンツ整備事業	県内の宿泊者数や観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、自然・歴史文化・スポーツ・ウェルネス・スピリチュアル・ユニークベニューといった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援した。	○テーマ別観光コンテンツづくり支援事業 ・補助金交付状況：4件、3,897千円 ・交付先 日本ゴルフツーリズム推進協会 美馬観光ビューロー ときわ amidex	R6年度に立ち上げた観光推進PTでの検討を踏まえ、「自然」「歴史・文化」「スポーツ」「ウェルネス」「スピリチュアル」「ユニークベニュー」といった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援する。
	秋の阿波おどり～Autumn Festa～事業	阿波おどりを核としたイベントに若者男女に人気のあるサンリオスペシャルパレードを誘致することにより、徳島の観光コンテンツの魅力発信、来県者増に加え、持続可能な観光コンテンツ作りのため阿波おどりははじめとした伝統文化の次世代への継承を図った。	○徳島おどりフェスタ2025 ・開催日：令和7年11月1日、2日 ・開催場所：徳島市中心部 ・パレード参加者：約66,000人	R8年「徳島おどりフェスタ」については、R7年のナイトタイムコンテンツの拡充などの成果を引き継ぎ、同時期に開催されるイベントなども巻き込みながら、相乗効果を創出するイベントとする。
	とくしままるごとにぎわい創出事業	県内外からの観光誘客の促進及び地域経済の活性化を推進するため、徳島県ならではのコンテンツの発掘・充実を図ることにより、年間を通じた新しいにぎわいを創出した。	○アニメ等を活用した太規模イベントへの協力 ・補助件数：3件 ○徳島県にぎわい創出推進補助金 ・補助件数：22件	コンテンツやイベントの充実により、前年から増加しており、目標達成に向け、引き続き、滞在・周遊につながるコンテンツ等の充実に努める。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

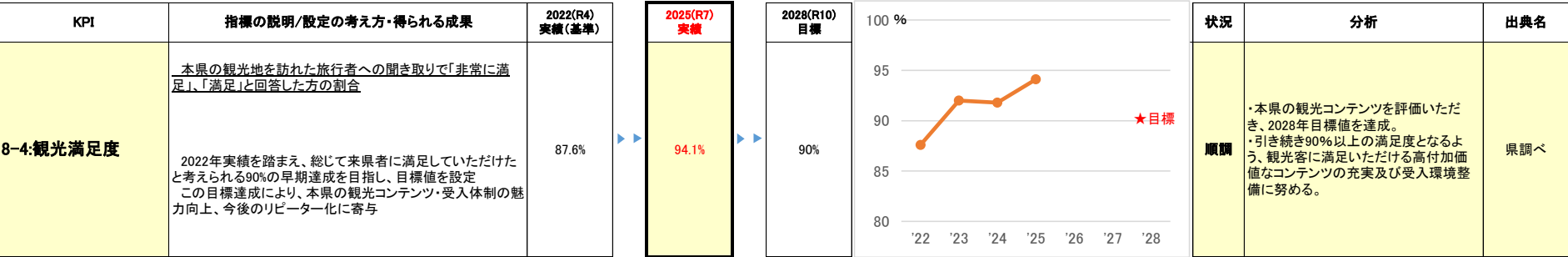
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

誰もが「何度も行きたい」と思える魅力的な場所・機会が創出され、国内外からのたくさんの人出で賑わっている

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
高付加価値なコンテンツ整備	新時代の「阿波・徳島」観光コンテンツ整備事業	県内の宿泊者数や観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、自然・歴史文化・スポーツ・ウェルネス・スピリチュアル・ユニークベニューといった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援した。	○テーマ別観光コンテンツづくり支援事業 ・補助金交付状況：4件、3,897千円 ・交付先 日本ゴルフツーリズム推進協会 美馬観光ビューロー ときわ amidex	R6年度に立ち上げた観光推進PTでの検討を踏まえ、「自然」「歴史・文化」「スポーツ」「ウェルネス」「スピリチュアル」「ユニークベニュー」といった「新たな観光テーマ」に沿って実施されるコンテンツ造成から販売促進の取組を支援する。
・高付加価値なコンテンツ整備 ・新たなキャンペーンの展開	周遊促進！徳島観光すいすい事業	周遊観光を促進するため、DMOが実施するファムツアーや海外メディア取材受入、デジタルマーケティング推進に対する支援を行った。 また、本県への団体バス旅行を催行する旅行会社へ支援を行った。	○イーストとくしま観光推進機構 ・ファムツアー主催・提案：8件 ・海外メディア取材受入：7件 ・ツーリズムEXPO等商談会参加 ・万博を契機としたデジタルプロモーション ・デジタルマーケティング推進 ○補助金交付実績：バス228台、7,130人	県が主体となった県内DMOの連携構築の場である「徳島県DMO観光推進協議会」を核に、県内の「周遊性・滞在性」を高める旅行商品の開発や「サステナブルツーリズム」の確立等を推進する。
宿泊施設の誘致	宿泊施設立地促進事業	MICEや富裕層インバウンドの誘致、および大規模イベント時の宿泊施設不足に対応するため、国際的なブランド力を持つ高級宿泊施設に対し、戦略的に誘致活動を実施した。	○高級宿泊施設誘致に向けた営業 ・営業資料作成 ・営業活動 ・土地情報整理	国内外のホテル事業者やデベロッパーに対し、誘致活動を行い、本県の補助制度や立地のメリットをPRすることで、将来的な本県への誘致につなげる。
施設のブラッシュアップ	インバウンド等受入環境整備促進事業	国際定期便の就航に伴い増加する外国人観光客の県内受入環境の充実・強化を図るため、県内事業者等が実施する多言語対応や免税店登録・導入などの「受入環境整備」に対して支援を行った。	○受入環境整備支援 ・多言語対応 47件 ・キャッシュレス決済導入 6件 ・無料Wi-Fi整備 7件 ・免税店登録・導入 2件	増加するインバウンド対応に向け、旅行者の意見を踏まえ、引き続き観光施設の多言語化など受入環境の充実・強化に取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

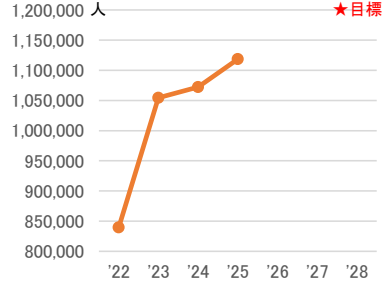
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

徳島阿波おどり空港において、国際線や国内線ともに路線が充実し、利便性が飛躍的に向上

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況

KPI	指標の説明/設定の考え方・得られる成果	2022(R4) 実績(基準)	2025(R7) 実績	2028(R10) 目標		状況	分析	出典名
8-5:徳島阿波おどり空港の利用者数	<u>徳島阿波おどり空港就航の航空路線で出発した旅客数と到着した旅客数の合計</u> 既存路線の維持・拡大とともに、国際線や国内LCCの新規就航を目指し、目標値を設定 この目標達成により、県内外の人が移動しやすい環境が創出され、人流・物流・商流の拡大に寄与	839,629人	1,118,499人	120万人		順調	・国際定期便やチャーター便の就航等により、2028目標値に向け堅調に推移している。 ・引き続き、既存路線の利用促進、国際線等の新規就航に向けたセールス等に取り組み、利用者数の増加を図る。	大阪航空局資料

■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
エアポートセールスの推進	今こそ海外！国際線利用促進事業	徳島阿波おどり空港における航空ネットワークの充実を目指して、東アジア、東南アジアとの新規航空路線の誘致・定着に向けた、航空会社への運航支援や旅行会社への商品造成支援、アウトバウンド利用促進事業、空港業務体制強化支援などを実施した。	○国際定期便の就航:2路線（香港、韓国） ・航空会社への運航支援:2件 ○旅行会社への商品造成支援 ・国際チャーター便商品:2件 ・国際定期便商品:20件 ・モニターツアー商品:5件 ・閑散期商品:1件 ○アウトバウンド利用促進事業 ・バスポート取得支援:208名 ・駐車場割引支援:駐車券4,114枚配布 ・アウトバウンド利用促進イベント:2回 ・BUSPASS配布:6,628枚 ・国際便情報サイト制作 ・国際便PR動画作成 ○空港業務体制強化支援 ・人材育成支援:2件	現地エージェンシーや関係機関とも連携し、航空会社や旅行会社に対して、需要見込みやインセンティブをPRするなど、新たな路線誘致に取り組む。
	韓国国際線利用促進事業	韓国定期便を利用した訪日外国人旅行者のさらなる拡大を目的として、県内各地を周遊できるバス乗車券を配布するとともに、韓国で開催される旅行博等のイベントに徳島を代表する伝統芸能である阿波おどりを派遣し、現地プロモーションを実施した。	○バス乗車券配布事業:4,969枚 ○韓国阿波おどり派遣 ・派遣日:令和7年10月12日～13日 ・派遣先・人数:韓国ソウル・30名 ○済州阿波おどり派遣 ・派遣日:令和7年11月2日～3日 ・派遣先・人数:済州特別自治道・31名	
	お出かけ「飛好機」利用促進事業	既存路線の維持・拡大を図るため、低需要便を活用した旅行商品の造成支援や乗継便のPR等に取り組むとともに、新たな航空需要創出に繋がるチャーター便への支援等を行った。	○既存路線を活用した旅行商品造成支援:40件 ○双方向チャーター便を活用した旅行商品造成支援:6件 ○県内外での乗継便等のPRイベント:6回実施 ○航空会社等へのエアポートセールス	

徳島新未来創生総合計画 評価シート

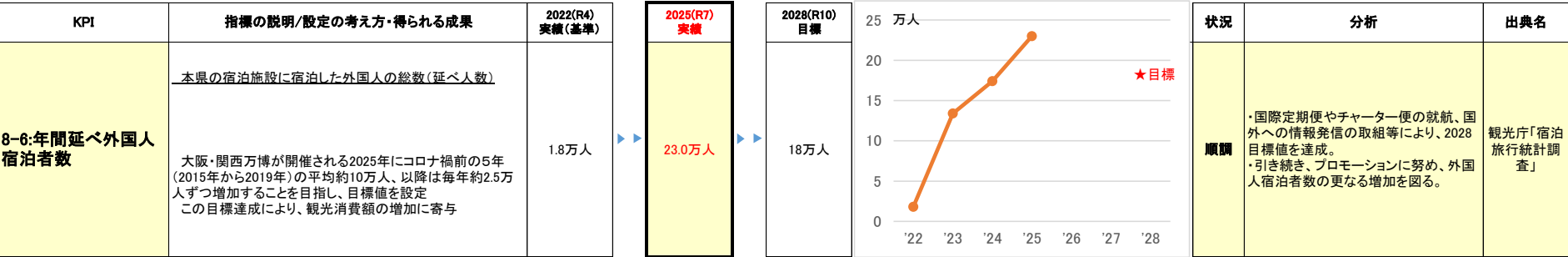
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

観光産業の生産性・収益向上等により、「稼げる産業」へと変革

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
誘客プロモーション	「Let's go Tokushima」海外プロモーション事業	国際線の就航を見据え、香港、韓国、台湾、タイをターゲットに、海外の旅行会社を対象にファムツアーやセールスなど戦略的なPR活動を実施した。 また、国外での本県の認知度向上を図るため、旅行博への出展や現地で発信力のあるインフルエンサー等の招聘を実施した。	○香港インフルエンサー、メディア招聘 ○香港旅行会社の招聘と商談会 ○香港での旅行博出展 ○香港踊らう・秋祭り2025イベント出展及び阿波おどり派遣 ○香港現地ミニセミナー開催 ○韓国観光商談会及びセミナー ○韓国Travelshow2025旅行博出展 ○韓国インフルエンサー、メディア招聘 ○韓国旅行会社招聘 ○台湾ITF旅行博出展 ○台湾インフルエンサー、旅行会社招聘 ○タイインフルエンサー、旅行会社招聘 ○バンコク日本博2025出展 ○万博イッパハシリオン阿波おどり派遣 ○ハワイ阿波おどり派遣	香港、韓国、タイ、台湾の各ターゲット市場ごとに有効なセールスを実施する。 誘客においては、県のみならず、広域DMOや日本政府観光局、大使館等とも連携し取り組む。
	「Welcome Tokushima」誘客支援事業	外国人観光誘客を促進するため、旅行会社への各種助成を行うとともに、本県を訪れる外国人観光客が快適に滞在できるよう、受入環境の強化や、国際定期便等のおもてなし充実につながる取組を行った。	○旅行会社等への各種助成 ○おもてなしグッズ製作	
	広域観光推進事業(国外)	四国4県及びJR四国などの民間企業等で構成される「四国ツーリズム創造機構」、関西の8府県4市を構成団体とする「関西広域連合」、瀬戸内7県7の民間企業等で構成される「せとうち観光推進機構」と連携し、観光地づくりや誘客活動等の取組を推進するとともに、受入環境の充実に向け、広域連携による取組を実施した。	○四国ツーリズム創造機構 ・欧州拠点による営業活動 ・旅行博NATAS Holidays 2025出展 ・万博徳島県ブースでの特別企画展 ・アドベンチャートラベル販売促進FAM招聘 ・四国観光関連DMPの運用等 ○関西広域連合 ・台湾商談会開催 ・万博における広域観光PR ○せとうち観光推進機構 ・コンテンツ造成 ・スルーガイド育成事業	外国人観光客は、各県を周遊して旅行を楽しむ傾向があることから、四国、関西、瀬戸内といったスケールメリットを最大限活かしたプロモーションを行うことが非常に重要であり、本県としても広域DMOが実施する旅行博、セミナーやファムツアー等に積極的に参加し、更なる誘客に繋げていく。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

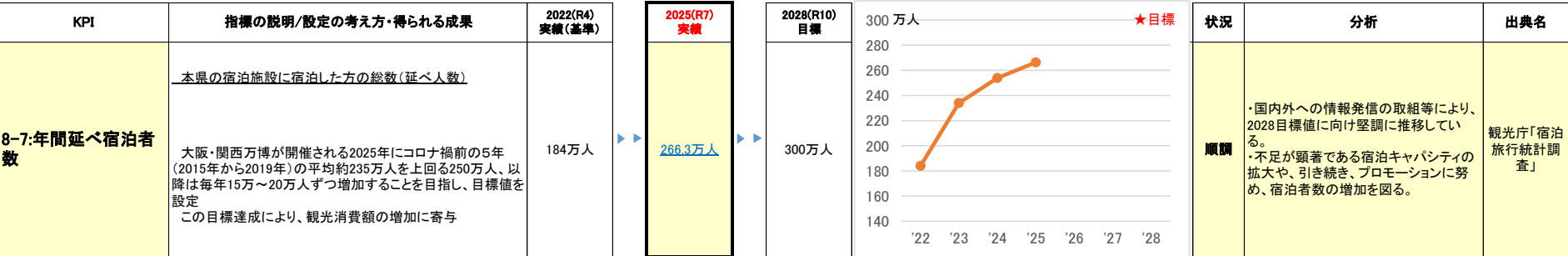
魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

■目標となる将来像

観光産業の生産性・収益向上等により、「稼げる産業」へと変革

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
宿泊施設の誘致	宿泊施設設立地促進事業	MICEや富裕層インバウンドの誘致、および大規模イベント時の宿泊施設不足に対応するため、国際的なブランド力を持つ高級宿泊施設に対し、戦略的に誘致活動を実施した。	○高級宿泊施設誘致に向けた営業 ・営業資料作成 ・営業活動 ・土地情報整理	国内外のホテル事業者やデベロッパーに対し、誘致活動を行い、本県の補助制度や立地のメリットをPRすることで、将来的な本県への誘致につなげる。
新たなキャンペーンの展開	新時代の「阿波・徳島」プロモーション事業	徳島の観光資源を有効活用し、国内外からの観光誘客を図るため、首都圏における観光商談会や各種メディアプロモーションを実施した。	○首都圏プロモーション ・観光PR動画の作成及びメディア広告 ・コンセプトツアー造成 ・キックオフイベント/交通広告の実施 ○オール徳島観光商談会の開催 ・日時：令和7年5月15日 ○メディアプロモーション(JAL・ANA) ・機内誌の記事掲載 ・機内スクリーン広告 ・大塚美術館貸切ツアーの実施 ・羽田乗継割引実施及び専用LP制作 ・羽田空港第二ターミナル及び北海道3空港でのサイネージ展開 ・DPクーポン発行及び専用LP制作 ・外部ディスプレイ広告の実施 ・ターゲティング広告の実施	首都圏の主要ターミナルや公共交通を戦略的に活用し、観光コンテンツのほか、食や物産などを一体的かつ集中的に発信するほか、メディアを活用したプロモーションの強化を図るため、県が運営するSNS等のクオリティの向上や、テレビや映画のロケ地として徳島を売り込むための支援制度により、本県の魅力と認知度の向上に繋げる。
	広域観光推進事業(国内)	四国4県及びJR四国などの民間企業等で構成される「四国ツーリズム創造機構」と連携し、観光交流人口の持続的な増加や四国の活性化を図るため、「四国観光交流戦略」に基づいた観光地づくりや誘客活動等の取組を推進した。	○会員について(R8.4.1現在) ・協賛会員：16社、賛助会員：174社 ○四国商談会の開催 ・東京会場：令和7年10月6日 ・大阪会場：令和7年10月16日 ○ツーリズムEXPO(愛知)への参加 ・令和7年9月25日～28日	四国ツーリズム創造機構と連携し、 ・商談会や旅行博に出展し、アドベンチャートラベルを中心とした商品造成を促進 ・旅マエ、旅ナカに対応できる四国インフォメーションデスクの運用 ・四国観光アプリ「しこくり」の運用・展開 など広域プロモーションを実施する。
国際MICEの誘致促進	コンベンション誘致促進事業	会場施設をはじめ、宿泊・飲食・交通など幅広い業種における地域経済の活性化が大きく期待できる中、四国会議以上のコンベンションについて助成し、開催支援や宣伝活動を行うことにより、コンベンションの誘致を行った	○コンベンション参加人数：25,963人 ○助成件数：45件	県観光協会と連携し、助成制度を活用した開催支援の周知を図るとともに、県内大学への助成制度の説明会や学会本部・旅行会社等への個別営業を実施していく。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

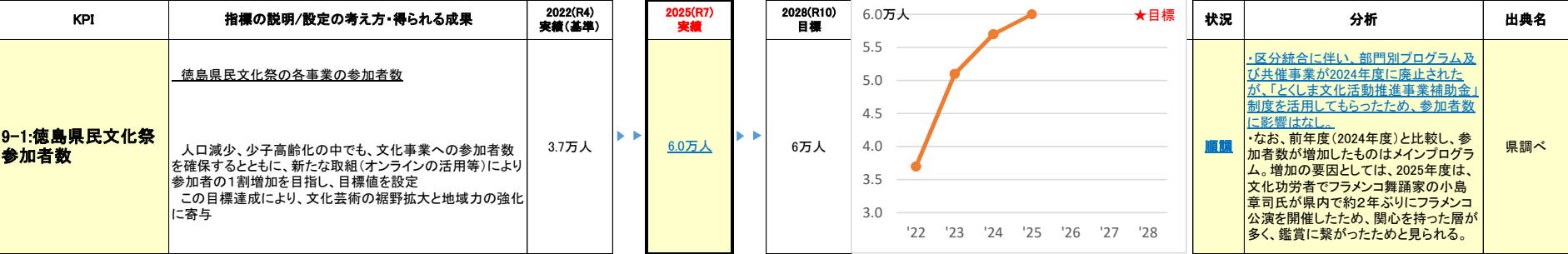
魅力度UP

戦略9 文化芸術の振興

■目標となる将来像

あわ文化の魅力が国内のみならず海外にも広く認知され、多くの人々が継続的に本県を訪れ、その魅力と感動を県民とともに共有

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
あわ文化の継承・発展への支援と魅力発信	徳島県民文化祭開催事業	本県の文化芸術の裾野拡大や地域活性化を推進するため、県民主役の「徳島県民文化祭」を開催し、発表機会や鑑賞機会を創出した。	・R7メインプログラム：731名 ・協賛事業(26事業)：50,168名 ・特別協賛事業(4事業)：884名 ・その他(とくしま文化活動推進事業補助金を活用した事業)：8,750名	メインプログラムは公演内容によって観客の年代や観客数が変わるので、幅広い年代に満遍なく関心を持って来場してもらえるような広報、SNS発信により一層力を入れ、徳島県民文化祭の参加者数増加に取り組み、徳島の文化振興を促進する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

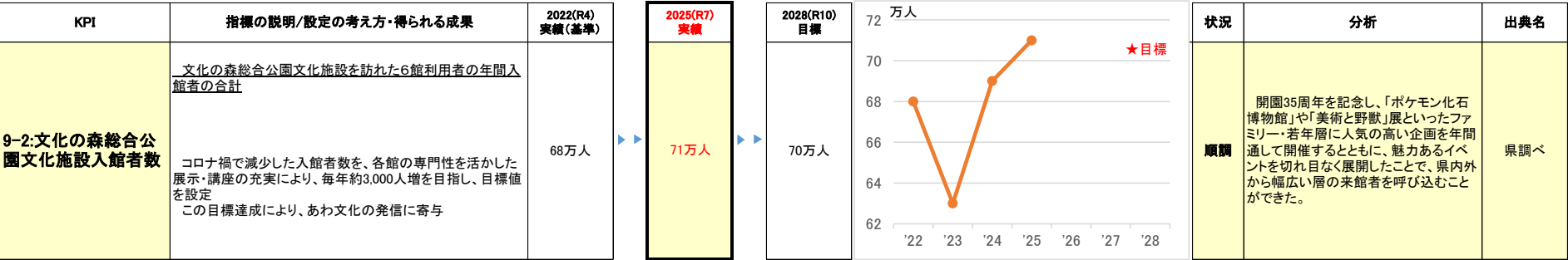
魅力度UP

戦略9 文化芸術の振興

■目標となる将来像

様々な芸術文化、地域資源を活用し、その魅力と感動を県民とともに共有

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
文化の森総合公園における魅力発信	文化の森各館企画展等開催費	本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。	○博物館企画展・特別陳列(3回開催) ・観覧者数:59,320人 ○近代美術館開館35周年記念展(1回開催) ・観覧者数:4,202人 ○文書館企画展(4回開催) ・観覧者数:37,702人 ○21世紀館文化事業(14事業開催) ・観覧者数:9,255人 ○鳥居龍蔵記念博物館企画展(1回開催) ・観覧者数:1,607人 ○6館連携共催事業(4回開催) ・観覧者数:3,266人	人口減少、余暇の過ごし方やレジャーの多様化等の社会的背景により、入館者数の増加は難しい状況にあるが、民間企業と連携し、徳島出身の実業家・原安三郎が蒐集した浮世絵のうち、初公開作品を含む200点以上の名品が鑑賞できる、「原安三郎コレクション 北斎×広重」点をはじめとする魅力的で話題性の高い展示・イベントを開催するとともに、SNSやデジタル広告、民間企業等との共同プロモーションなど、これまで以上に「効果的な情報発信」を行い、入館者数の増加に努める。
	文化の森デジタルアーカイブ構築事業	文化の森各館所蔵の貴重資料への閲覧機会を増大させ、来館者の増加に結びつけるため、資料のデジタル化を推進し、手軽に閲覧利用できる環境を提供した。	○「文化の森総合公園とくしまデジタルアーカイブ」として、累計6,949点の貴重資料をインターネットで公開 ○「文化の森統合検索システム」において、文化の森各館のコンテンツをワンストップで検索できる機能を追加	文化の森各館が所蔵する貴重な資料を後世に引き継げるよう、デジタルアーカイブの拡充を図るとともに、文化の森の魅力を県内各地に出向いて伝える映像コンテンツに利用するなど、貴重資料への閲覧機会を増大させ、来館者の増加に結びつける。

ボーンベットの発掘・発信	日本最古級恐竜化石含有層調査・文化観光活用事業	本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と周辺環境調査を行うとともに、新たに「文化の森で化石発掘体験」をスタートさせるなど、文化観光活用事業を実施した。	○恐竜化石計2点を発見(鳥脚類イグアナドン類の歯1点、竜脚類ティタノサウルス形類の歯1点) ○脊椎動物化石280点を採集(カメ、ワニ等) ○発見した最新の化石を常設展「徳島恐竜コレクション」及び企画展「ポケモン化石博物館」で公開 ○「文化の森で化石発掘体験」の実施 ・参加者数:2,610人 ○阿波かつうら恐竜フェスティバルの展示会や講演へ協力 ○勝浦町でサテライト展を開催 ○YouTube「博物館チャンネル」で成果を紹介 ○恐竜化石発掘ボランティアを公募	増大する発掘調査に係る業務には人材確保が必要であることから、化石発掘ボランティアを公募制にし、人材育成研修を実施する。 また、発掘調査やその意義、成果を全国に発信し、誘客に繋げるため、常設展及び企画展において勝浦町の恐竜化石等を展示するとともに、化石発掘体験イベントを実施する。
--------------	-------------------------	--	---	---

徳島新未来創生総合計画 評価シート

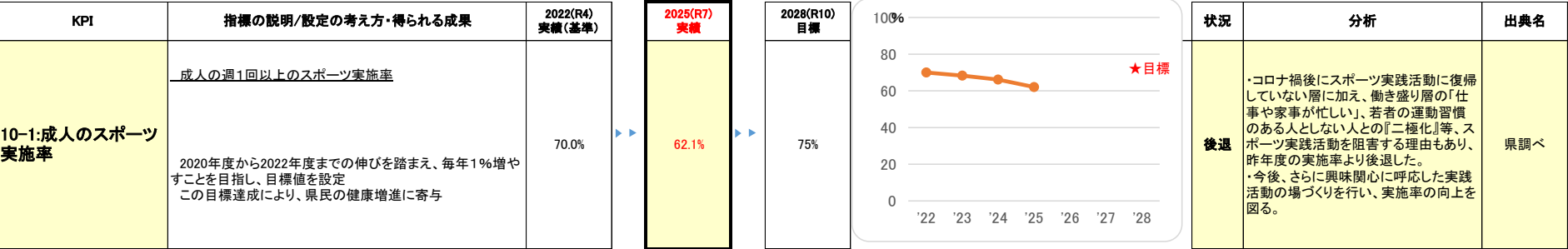
魅力度UP

戦略10 スポーツ立県の推進

■目標となる将来像

誰もが生涯にわたって気軽にスポーツを楽しめる、生涯スポーツ社会の実現

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
スポーツイベントの実施	スポーツ・イン・ライフ創造事業	各世代が日常的に運動・スポーツに参画する「スポーツ・イン・ライフ」の創出を図り、生涯スポーツ社会の実現に寄与するために、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るとともに、だれもがスポーツに参加しやすい環境づくりを推進した。	○総合型地域スポーツクラブの状況 ・クラブ会員数: 6,669人 ・登録クラブ数: 30クラブ ○地域スポーツ推進力向上事業の実施 ・「指導者」の派遣 対象事業数: 10事業 事業参加者総数: 3,313人 ・「スポーツSDGs」の推進 実施事業数: 6事業 参加者数: 788人 ・登録認証制度の推進 登録審査会: 1回 実地審査: 延べ50クラブ	日常的なスポーツ参画を促進するための課題として挙げられる「場づくり」のため、組織基盤の強化や興味関心に呼応した実践活動の実施等、今後とも総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けて取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

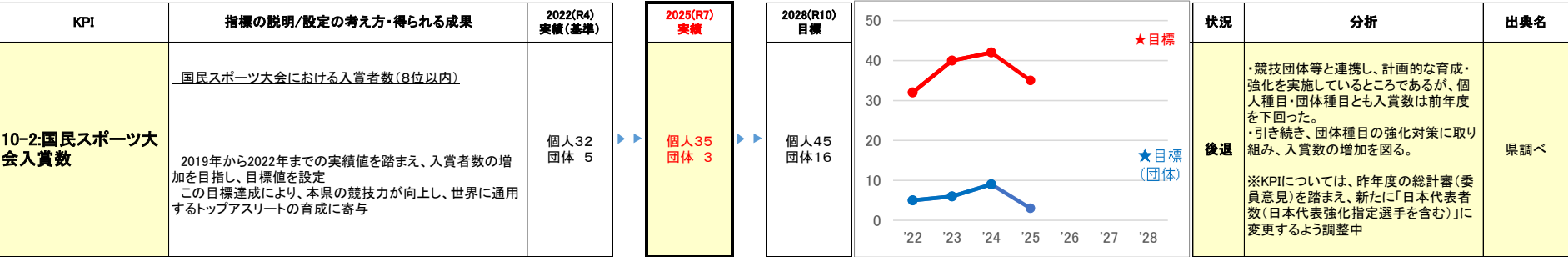
魅力度UP

戦略10 スポーツ立県の推進

■目標となる将来像

世界で活躍するトップアスリートの育成による活力ある地域社会の実現

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
スポーツイベントの実施	スポーツコミッションを核としたスポーツ立県推進事業	オリンピック選手をはじめとする日本トップレベルの選手を招聘し、練習会や講演等を行うことによって、徳島県内のジュニア選手の技術やモチベーションの向上を図った。		マイナースポーツも含め、幅広い競技に徳島県内のジュニア選手が触れ合うことができるよう講師を選定する。
競技力の戦略的強化	オリンピック選手輩出・国スポ飛躍プロジェクト	オリンピック選手の輩出及び国スポの入賞者数の増加を図るため、団体競技の強化、次世代育成、指導者の確保、競技環境の整備等の対策を実施した。		これまでの競技団体や選手への継続した支援に加え、デジタル技術等を活用した新たな取組についてもサポートし、競技力の向上を図る。
競技団体等への医科学サポート	あわスポーツ・医科学強化プロジェクト	本県の競技力向上を図るため、スポーツ医科学情報を活用し、トップレベルの競技者・指導者を育成・サポートする環境を構築した。		メディカルチェックを基にした専門家による個別指導・相談支援の実施により、パフォーマンス向上に繋げる。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

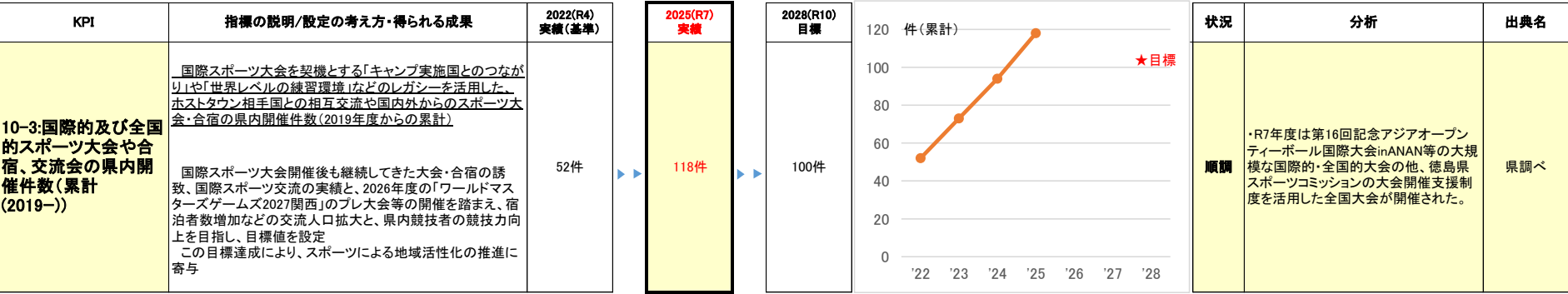
魅力度UP

戦略10 スポーツ立県の推進

■目標となる将来像

スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化、にぎわい創出

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
国内外からのスポーツ大会・合宿誘致、国際交流の実施	スポーツコミッションを核としたスポーツ立県推進事業	徳島県スポーツコミッションを核に、積極的なスポーツ大会・合宿の誘致による、国内トップレベルの選手・団体との交流を通じた本県競技団体の競技力向上、AEDや熱中症対策用品の整備・貸出しによる合宿・大会の安全性向上を図るとともに、交流人口拡大と地域活性化につながる「スポーツツーリズム」を推進した。	○関西圏の旅行会社への訪問、県内外のスポーツイベントにおける広報活動、ホームページ・SNSでの情報発信 ○スポーツ合宿開催支援制度の実施 ・件数:47件、宿泊数:延べ5,481人泊 ○スポーツ大会開催支援制度の実施 ・件数:1件、宿泊数:延べ83泊 ○ハイレベル交流事業:8件 (ソーシャルフットボール日本代表、ライフル射撃日本代表、実業団陸上競技部等)	大会・合宿誘致における課題である認知度向上を図るため、全国規模の展示会(SPORTEC)への出展、SNSでの情報発信等の広報活動を強化するほか、ツーリズム効果とともに県内競技団体の競技力向上を図るため、国内外のハイレベル競技団体等による合宿・大会のさらなる誘致に取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

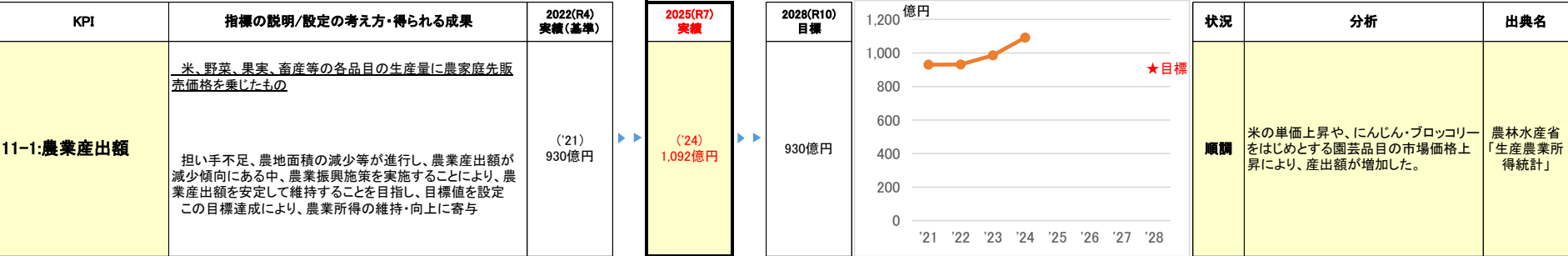
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

本県の食料供給力が維持・強化されるとともに、農林水産業が地域経済を支える基幹産業として発展しています。

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度 (R7) の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
産地リノベーションの推進	産地収益性向上事業	園芸産地の収益性向上を図るため、新たに生産性向上や高付加価値化につながる技術を導入する農業者を支援した。		農業者の低コスト化や高付加価値化に向け、新品種の導入やスマート農業機器の活用といった個々の取組を支援した。今後は、これらの成果を産地全体へ波及させる取組を推進し、生産資材などの価格高騰の影響を受けにくい経営体制の整備を図る。
	県産米安定生産・振興確立事業	持続可能な水田農業の実現による経営安定を図るため、水稻「にじのきらめき」等の生産にかかる課題解決に向けた取組及び地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大による酒米産地の振興を推進した。		新たな水稻奨励品種の生産面積拡大の取組を推進する必要がある。生産性向上に向けた技術対策及び種子確保対策を進める。
販売プロモーションの実施	・とくしまパリュークリエイション海外展開事業 ・農林水産物輸出チャレンジ支援事業 ・とくしま輸物流ネットワーク構築事業	本県農林水産物の輸出拡大を図るため、輸出に取り組む生産者の育成確保や主要な輸出先である台湾、香港、タイ、シンガポール等での地域商社を中心とした効果的なプロモーション、EU・北米・中東等の新市場における販路拡大や最適な輸出方法の確立のための実証を行った。		主要市場であるアジアでは競争が激しくなっており、今後の輸出額の拡大には、輸出による収益性の高い品目やターゲットとする輸出先国を明確化するとともに、官民一体の地域商社「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」を核に食・観光・文化の一体的プロモーションに取り組む。
スマート農業対応型基盤整備の推進	経営体育成基盤整備事業	農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地の集積・集約化を促進するとともに、農地の区画整理や農業用水路のバイパス化などスマート農業に対応した基盤整備を実施した。		農地中間管理機構との円滑な連携により農地の集積・集約化が順調に進められている。引き続き、関係機関と共に、スマート農業に対応した基盤整備に取り組むとともに、ほ場整備地において、キャベツなどの高収益作物を産出する農業法人等の参画を促すプロジェクトの推進により、新たな園芸産地の育成に取り組む。
農林水産業の生産基盤の強化	とくしま農山漁村未来投資事業	持続可能な農林水産業を展開するため、地域の未来を担う多様な農林水産業者が実施する経営規模の拡大や経営転換に向けた投資を促進する取組を支援した。		意欲ある農林水産業者の設備投資を支援した。引き続き経営規模の拡大や高収益化への経営転換を支援する必要がある。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

多様化する消費者ニーズに対応した生産拠点づくり

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況

KPI	指標の説明/設定の考え方・得られる成果	2022(R4) 実績(基準)	2025(R7) 実績	2028(R10) 目標	箇所	状況	分析	出典名																
11-2:新たな施設園芸 団地箇所数(累計 (2024-))	<u>1ha規模の新たな施設園芸団地の箇所数</u> 県央部、県南部、県西部の3地区での整備を目指し、目標 値を設定 この目標達成により、スマート農業を用いた安定性の高い 生産を実現	-	累計 1箇所	3箇所	<table><caption>施設園芸団地箇所数進捗状況</caption><tr><th>年度</th><th>箇所数</th></tr><tr><td>'22</td><td>0</td></tr><tr><td>'23</td><td>0</td></tr><tr><td>'24</td><td>1</td></tr><tr><td>'25</td><td>1</td></tr><tr><td>'26</td><td>1</td></tr><tr><td>'27</td><td>1</td></tr><tr><td>'28</td><td>1</td></tr></table>	年度	箇所数	'22	0	'23	0	'24	1	'25	1	'26	1	'27	1	'28	1	現状維持	・資材価格の高騰により、施設整備にか かる費用が増大している。 ・低コスト化や高付加価値化を実現する ビジネスモデルが必要	県調べ
年度	箇所数																							
'22	0																							
'23	0																							
'24	1																							
'25	1																							
'26	1																							
'27	1																							
'28	1																							

■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
施設園芸の団地化・高度化 の推進	園芸産地生産拠点創出事 業	首都圏や海外の消費地ニーズに対応できる園芸産地の「新たな生産拠点」を創出し、本県農産物の生 産力強化と次代を担う人材の育成・確保を図るため、生産性・収益性向上に資する機能を備えた「施設園 芸団地」の整備を推進した。	・施設園芸団地の整備箇所数:0箇所	施設園芸団地の整備に取り組む経営体の掘り起こしを行うと ともに、団地化に向けて小売・食品企業との連携により生産から 販売を一気通貫で行えるビジネスモデルが必要。 引き続き、生産性・収益性向上に資する機能を備えた施設園 芸の団地化等を推進し、地域の生産拠点の創出に取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

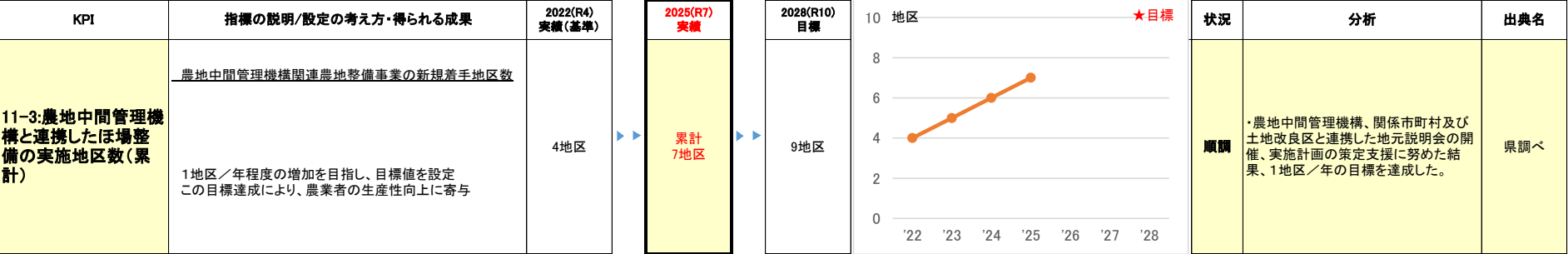
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

生産基盤の整備等により、本県の食料供給力が維持・強化されるとともに、農林水産業が地域経済を支える基幹産業として発展

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
スマート農業対応型基盤整備の推進	経営体育成基盤整備事業	農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地の集積・集約化を促進するとともに、農地の区画整理や農業用水路のバイブライン化などスマート農業に対応した基盤整備を実施した。	事業実施地区数:7地区(297.4ha)	農地中間管理機構などとの円滑な連携により農地の集積・集約化が順調に進められている。引き続き、関係機関と共に、スマート農業に対応した基盤整備に取り組むとともに、ほ場整備地において、キャベツなどの高収益作物を産出する農業法人等の参画を促すプロジェクトの推進により、新たな園芸産地の育成に取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

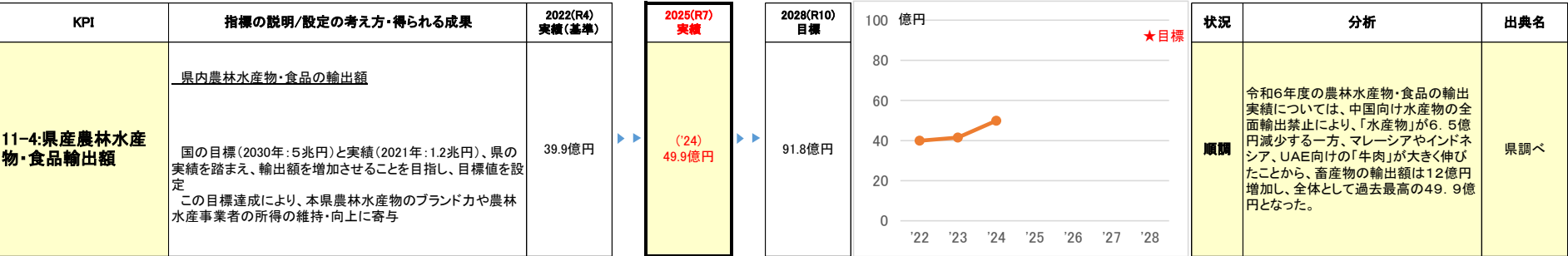
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

「輸出」による本県農林水産業の維持・発展

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
販売プロモーションの実施	・とくしまバリュークリエイション海外展開事業 ・農林水産物輸出チャレンジ支援事業 ・とくしま輸物流ネットワーク構築事業	本県農林水産物の輸出拡大を図るため、輸出に取り組む生産者の育成確保や主要な輸出先である台湾、香港、タイ、シンガポール等での地域商社を中心とした効果的なプロモーション、EU・北米・中東等の新市場における販路拡大や最適な輸出方法の確立のための実証を行った。	プロモーション国・地域、回数:10か国、21回	主要市場であるアジアでは競争が激しくなっており、今後の輸出額の拡大には、輸出による収益性の高い品目やターゲットとする輸出先国を明確化するとともに、官民一体の地域商社「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」を核に食・観光・文化の一体的プロモーションに取り組む。
輸出先のニーズや規制への対応	産地の輸出環境整備支援事業	輸出先国の植物検疫や残留農薬基準に対応するため、データベースや防除暦の作成、代替技術の検証等を実施し、規制をクリアして輸出に取り組む産地づくりを後押しした。	EU向けかんきつ登録園地数:34筆	農林水産物の輸出では、相手先国の規制が大きなハードルとなっており、国に二国間協議の推進を要望するとともに、生産者等の検疫への対応や国際認証取得などにより輸出先国のニーズや規制に対応した産地の育成を図る。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

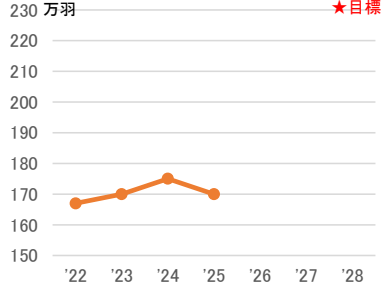
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

持続可能で競争力のある畜産業の実現

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況

KPI	指標の説明/設定の考え方・得られる成果	2022(R4) 実績(基準)	2025(R7) 実績	2028(R10) 目標		状況	分析	出典名
11-5:「阿波尾鶏」出荷羽数	<u>阿波尾鶏の年間出荷羽数</u> 過去最高出荷羽数(226万羽)を超える出荷を目指し、目標値を設定 この目標達成により、農業所得の維持・向上に寄与	167万羽	170万羽	230万羽		現状維持	物価高により、一般家庭消費や、外食・業務用市場の構造変化の動きが見られ、高価格帯鶏肉の需要が減少。	県調べ

■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
海外市場開拓・国内販路拡大及び生産支援	令和7年度徳島県産品消費拡大事業	地鶏の中で日本一の出荷羽数を誇る阿波尾鶏について、日本のリーディングブランドへと推進するため、更なる知名度向上と販路拡大に向けた販売戦略の構築及び消費宣伝活動を実施した。	第20回食育推進全国大会への出展 食の宝島とくしまマルシェへの出展示 料理教室の開催 販売促進資材の作成・配布	「阿波尾鶏」は、地鶏出荷羽数日本一であるものの、全国的な認知度向上に向け、引き続き、「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」や関係機関等と連携し、戦略的なプロモーションを実施することにより、認知度向上及び販路拡大に取り組む。
	徳島県GI登録産品料理開発	本県のGI登録産品と連携した料理の開発を行った。開発した料理を用いた研修会等の開催やPR動画及びレシピを作成し、阿波尾鶏ブランド確立対策協議会のHP等で紹介した。	研修会等の開催:2回 試食によるPR:3回 PR動画の作成及び発信	

徳島新未来創生総合計画 評価シート

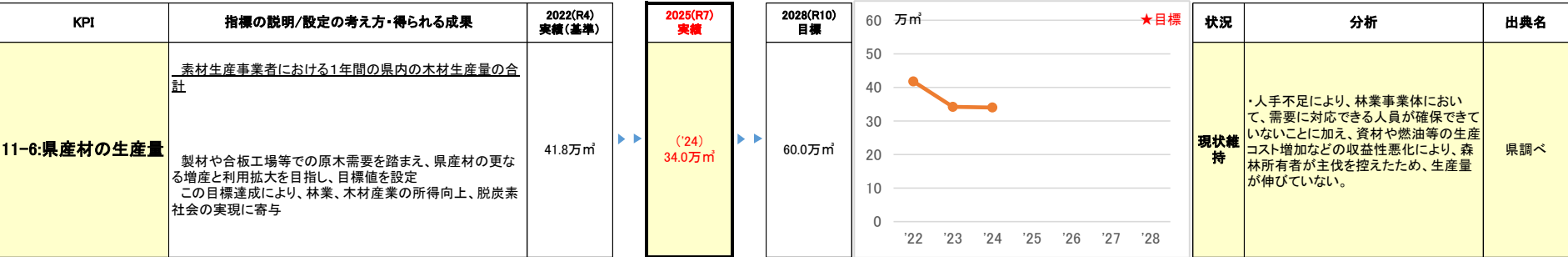
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

経営感覚に優れた意欲ある多様な担い手により、「環境」と「経済」が両立した持続性のある林業経営が行われ、農山漁村地域が活気に満ちあふれています。

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
・林内路網の整備推進 ・主伐型林業機械の導入支援	花粉削減・グリーン成長推進事業	花粉発生量の削減とカーボンニュートラルに寄与するグリーン成長を実現するため、林内路網の整備や高性能林業機械の導入などによる県産材増産体制の強化及び間伐材の生産促進などを支援した。	○間伐：44.85ha ○林業専用道開設：600m ○森林作業道開設：33,761m ○高性能林業機械の導入：8台	収益向上のため、利用期を迎えた多くの人工林において、国の支援制度を活用し、林内路網の整備や高性能林業機械の導入を支援する。
新たな流通加工体制の構築	県産木材競争力強化対策事業	県産材の安定供給とサプライチェーン構築に向け、木材加工施設の整備支援、製材工場間の連携による出荷体制の構築、人材確保や育成のための見学会・研修会を実施した。	○木材加工施設の整備：1カ所 ○木材産業事業者研修会：2回 ○木材産業現場見学会：2回	県産材の需要が増加し、県内における木材価格は上昇基調にあるものの需給が逼迫していることから、林業事業体の基盤強化を進めるとともに、他県からの事業体の参入や働き手の誘導を図ることで、生産量の増加につなげる。
県産材の販路拡大	県産材レガシー創出事業 県産材販売力強化事業	万博を契機とした県産材の国内販路拡大を図るため、首都圏・関西圏の展示会に県内企業を取りまとめて出展し、PRとマッチングを実施するとともに、海外販路の拡大のため、台湾の建築展示会でのPRや、台北市内のモデル空間でのセミナー・商談会を通じ、県産木材の魅力を発信した。	○首都圏等展示会への出展：3回 ○大都市圏の企業等を対象に県産材PR/バスツアーを実施：1回 ○台湾で開催される展示会への出展：1回 ○県産材魅力発信セミナー・展示商談会の開催：2回(2日間) ○台湾の学生を対象とした木造建築の人材・技術交流会の開催	国内において住宅着工数が減少する中、非住宅分野での木材利用が旺盛な都市部や、今後新たな木材利用が期待される海外への県産材の販路拡大に引き続き取り組んでいく。
主伐型林業機械の導入支援	とくしま林業アカデミー運営支援事業	<u>成熟した森林から素材生産量の増産を図るため、林業従事者に対して、架線集材や大径材の伐採技術並びに作業班長としての資質向上研修を実施した。</u> また、新たな林業の担い手を確保するため、「とくしま林業アカデミー」の運営を支援した。	<u>○スペシャリスト養成数：14人</u> <u>○フォレストリーダー養成数：7人</u> ○林業アカデミー研修生：10人 ○オープンキャンパスへの県内高校生等参加人数：31人	林業従事者の確保と技術力の向上が課題であることから、人材育成の拠点であるアカデミーにおいて、カリキュラムの見直しや、適性に応じた個別研修の実施等、アカデミーの魅力向上に取り組む、木材生産等を担う人材の確保を図る。
木育活動の推進	徳島木のおもちゃ美術館管理運営	木の良さやその利用の意義を県民に広く知っていただくため、木育の拠点施設である「徳島木のおもちゃ美術館」の管理・運営業務を指定管理者により実施した。	<u>来館者数：139,465人</u>	来館者のうち未就学児を連れた家族利用が多くを占めることから、利用者ニーズに対応した施設の魅力向上を図ることでさらなる木育の推進に繋げる。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

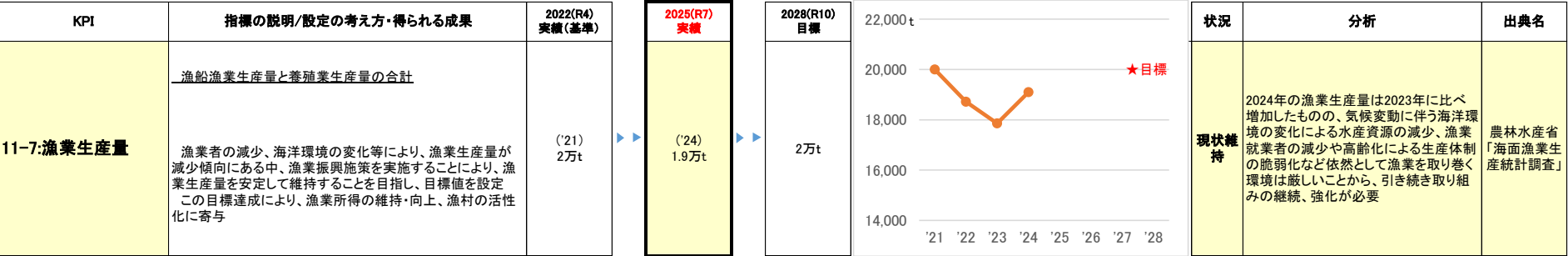
魅力度UP

戦略11 攻めの農林水産業

■目標となる将来像

水産業が地域経済を支える基幹産業として発展

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
増産対策の推進	栽培漁業推進体制整備事業費、種苗生産施設管理費	水産資源の維持増大を図るため、水産種苗の生産・放流を行う栽培漁業を推進した。また、放流種苗を計画的に生産・確保するため、種苗生産施設の運営、管理を行った。	ヒラメ放流尾数114千尾、アワビ類放流個数97千個、トコブシ放流個数105千個、クルマエビ類放流尾数35,890千尾	漁業生産量は漸減傾向にあることから、資源管理や藻場造成等と併せ、引き続き、栽培漁業の取組を推進する。
	水域環境保全創造事業	沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給の増大に寄与するため、藻場造成を実施した。	藻場造成地区数: 1か所	
新技術の導入推進	水産業成長産業化推進事業	内水面と海面の養殖業者が連携して取り組む、本県ならではの「養殖サツキマス(阿波さつき)」の安定生産体制の構築に向け、より成長が早いアメコ種苗の選抜育種試験や効率的な給餌方法の探索を行った。	○鳴門市1漁場、海部郡海陽町1漁場で「阿波さつき」の養殖試験を実施 ○鳴門市3漁場で、養殖初期のワカメの食害を防ぐ「育苗ケージ」の導入試験を実施	高水温化に伴い、藻類養殖業における生産不振や藻食魚類による食害が深刻化していることから、引き続き、新品種の現場導入や食害対策を推進する。
サーモン養殖体制の構築	水産業成長産業化推進事業	また、養殖ワカメ等の生産振興に向け、養殖初期の食害の「防除試験」を行った。		出荷時において、サイズに個体差が生じる等の課題があることから、均一かつ大きく育てる飼育方法の開発等に取り組む。
養殖製品のブランド構築	未来に残す強靱な海づくり事業	県産水産物の認知度向上を図るため、「徳島県水産物ブランド推進協議会」や「徳島の魚取扱店」と連携したPR活動に取り組んだ。	徳島の魚取扱店: 46店舗	漁業所得の向上を図るには、増産対策に加え、ブランド化の取組が重要であることから、引き続き、関係事業者と連携したPR等を実施する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

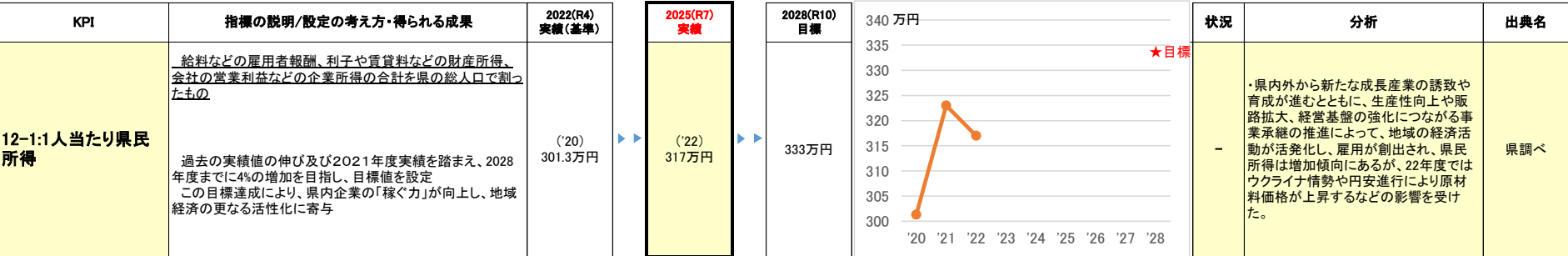
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

地域産業における新たな価値の創造と円滑な事業承継等により地域内外から人材・知・産業が集積する好循環の創出

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
創業プラットフォームによる支援	スタートアップ総合支援事業(とくしま・スタートアップ・プラットフォーム)	創業の促進を図るため、各種セミナーにより起業家精神を醸成し、専門家や補助金による支援を実施するとともに、とくしまスタートアッププラットフォームを活用したコミュニティを形成し、「準備期」から「創業」、「成長期」、「安定期」といった、各ステージに合わせて支援した。	○あったかビジネス認定事業者数:52社 ○スタートアップ創出補助金支援件数:5件 ○ふるさと起業家支援プロジェクト支援件数:1件 寄付総数:43人 ○長久館「特別塾」開催講座数:12回 受講者数:延べ2,361人 ○女性の起業支援セミナー受講者数:延べ465人 伴走支援受講者数:8人	創業者数は順調に推移しており、令和8年度は引き続き創業期から成長期まで各ステージや個別ニーズに応じた支援に取り組むとともに、スタートアップの販路開拓や資金調達、人脈形成に繋がる商談の機会を拡大し起業環境の向上を図る。
立地優遇制度を活かした企業誘致	企業立地促進事業費補助金	県内への企業立地を促進し、地域経済の活性化・雇用の創出・産業集積を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数 ・企業立地促進補助金:6件 ・ふるさとクリエイティブ・SOHO補助金:3件	原材料・エネルギー価格の上昇、昨今の中東情勢の影響がある中ではあるが、企業には将来を見据えた投資意欲が見られることから、引き続き、企業ニーズに応じた制度の構築を図りながら、積極的な企業誘致を展開する。
	情報通信関連事業立地促進費補助金	情報通信関連企業の立地を促進し、地域産業の情報化の推進と雇用の場の確保を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数:1件	

県内企業の海外展開を促進	「ワンチーム徳島」戦略的プロモーション事業（海外）	県産品の海外への販路開拓や県内企業の海外展開を促進するため、ターゲット国・地域の小売店や飲食店への販路など、商流を有する県内の輸出事業者や地域商社などと連携した直接営業や、海外政府機関とのMOUを活かした商談会などを実施した。	○フェア、商談会開催数等：延べ15回、105社 ○展示会出展：18事業者・商談件数：887件	・県産品の国内外への販路拡大と継続的な取引につなげるため、地域商社や関係機関と連携し、県産品のブランド化や販路開拓、県内企業の海外進出までワンストップで支援する。
	海外進出ワンストップ相談支援事業	県産品の国内外への販路開拓と県内事業者の海外進出を促進するため、ジェトロや上海事務所、MOUを締結した海外政府機関等と連携し、ワンストップ支援体制を構築・強化することにより、現地ニーズ調査から各種貿易相談、商談支援等を実施した。	○ワンストップ相談対応件数：22社46件 ○上海事務所における支援企業数：14社・団体 ○徳島県アジアデスクにおける支援企業数：78社・団体	
「持続的な生産性向上・質上げ」	賃上げ応援！生産性向上投資促進事業費補助金	厳しい経営環境を克服し、DXによるビジネスモデルの変革を促進するため、生産工程やサービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資に取り組む中小・小規模事業者に対する支援を行った。	○交付決定件数：39件	引き続き、関係団体と連携し、中小・小規模事業者の生産性向上支援に取り組む。
	賃上げ環境整備促進事業費補助金	生産性の向上や成長力の強化を図り、持続的な賃上げの実現に向けた取組を促進するため、策定した経営計画に基づく設備投資等に取り組む中小・小規模事業者に対する支援を行った。	○補助件数：312件	引き続き、関係団体と連携し、中小・小規模事業者の生産性向上支援に取り組む。
	徳島県賃上げ応援サポート事業	国の「業務改善助成金」を活用し、設備投資等の生産性向上に取り組む、事業場内の最低賃金引上げを行う中小・小規模事業者を対象に、県独自の上乗せ助成を行った。	○助成件数：340件	引き続き、生産性向上と事業場内の最低賃金引上げを行う中小・小規模事業者を支援する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

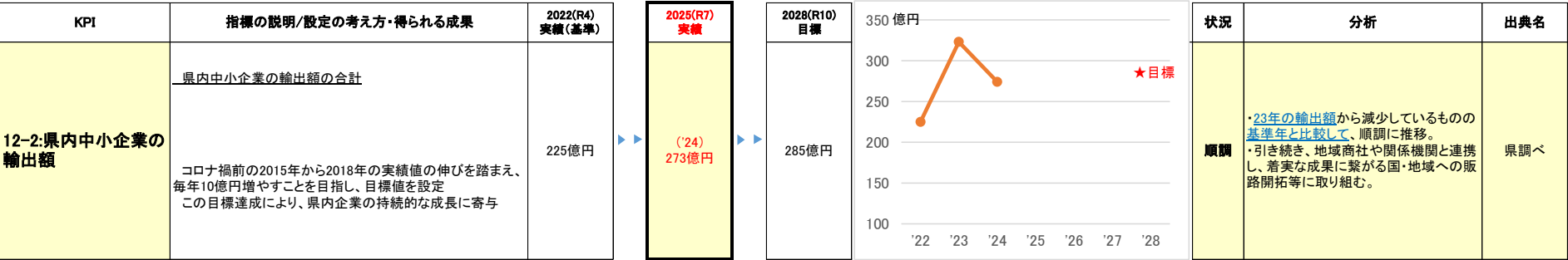
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

県内企業のグローバル展開の推進による持続的成長の実現

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
県内企業の海外展開を促進	「ワンチーム徳島」戦略的プロモーション事業(海外)	県産品の海外への販路開拓や県内企業の海外展開を促進するため、ターゲット国・地域の小売店や飲食店への販路など、商流を有する県内の輸出事業者や地域商社などと連携した直接営業や、海外政府機関とのMOUを活かした商談会などを実施した。	○フェア、商談会開催数等:延べ15回、105社 ○展示会出展:18事業者・商談件数:887件	・県産品の国内外への販路拡大と継続的な取引につなげるため、 <u>プロモーションや展示会に関する情報や商談機会を提供するとともに、商談実績を確実な成約や継続取引へと結びつけるため、事後のフォローアップ体制を強化し、県内企業の海外進出を支援する。</u>
	海外進出ワンストップ相談支援事業	県産品の国内外への販路開拓と県内事業者の海外進出を促進するため、ジェトロや上海事務所、MOUを締結した海外政府機関等と連携し、ワンストップ支援体制を構築・強化することにより、現地ニーズ調査から各種貿易相談、商談支援等を実施した。	○ワンストップ相談対応件数:22社46件 ○上海事務所における支援企業数:14社・団体 ○徳島県アジアデスクにおける支援企業数:78社・団体	
	ものづくり企業GX推進事業	GX関連の高付加価値製品の開発促進や人材育成に取り組むため、環境分野の技術シーズと県内企業のニーズのマッチング支援や展示会出展等を通じ、本県ものづくり企業のGX実現の促進を図った。	○関西機械要素技術展出展:8事業者・商談件数:958件 ・うち、成約件数:3件 成約額:4,000千円 ○EV・HV・FCV技術展出展:4事業者・商談件数:378件	
	地場産業総合サポート事業	本県の代表的地場産業である木工業や機械金属工業の「地域ブランド」の形成に向け、新商品・新技術の開発研究を支援するとともに、優れた技術や製品を広く情報発信することにより、販路開拓を支援した。	○補助金交付状況:3件 ・展示会、見本市出展支援社数:延べ29社	
	ものづくり企業販路開拓総合支援事業	県内中小企業の健全な発展を図るため、下請取引のあっせんや円滑化、広域商談会への参画を通じた販路開拓等を支援した。	○補助金交付状況:1件 ・商談成立件数:30件 ・商談成立額:386,310千円	

徳島新未来創生総合計画 評価シート

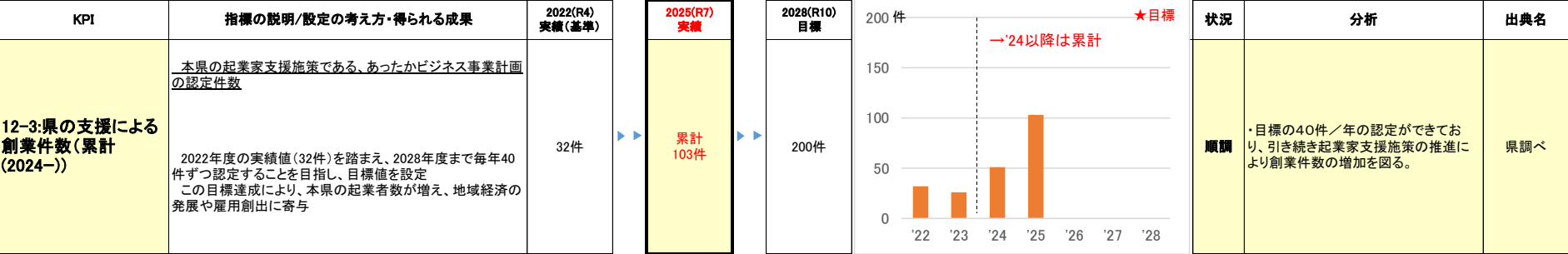
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

起業家やスタートアップ企業が次々と誕生する環境の醸成

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
創業プラットフォームによる支援	創業促進総合支援メニュー	創業の促進を図るため、各種セミナーによる起業家精神の醸成をはじめ、専門家や補助金による支援を実施するとともに、創業プラットフォームを活用したコミュニティを形成し、「準備期」から「創業」、「成長期」、「安定期」といった、各ステージに合わせて支援した。	○あったかビジネス認定事業者数:52社 ○創業補助金支援件数:5件 ○ふるさと起業家支援プロジェクト 支援件数:1件 寄附総数:43人 ○長久館「特別塾」 開催講座数:12回 受講者数:延べ2,361人 ○女性の起業支援 セミナー受講者数:延べ465人 伴走支援受講者数:8人	創業者数は順調に推移しており、引き続き創業期から成長期まで各ステージや個別ニーズに応じた支援に取り組むとともに、創業者の販路開拓の促進を図る。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

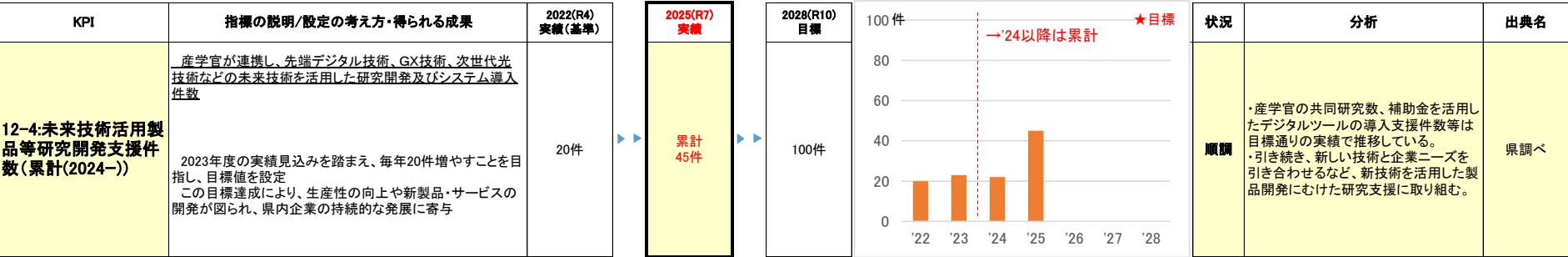
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

光関連分野、ICTや環境・エネルギー、蓄電池等の先進的分野の企業や研究開発機関の集積による新産業の創出

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
ものづくり企業のDX/GX推進	県内ものづくり企業DX促進事業	ものづくり企業の競争力の強化や更なる成長を促進するため、DX推進コーディネーターによる伴走支援や、DX人材育成のためのセミナー等を実施するとともに、DXの推進に向けた共同研究を実施した。	・共同研究:4件	「とくしまDX推進センター」を核として、県内ものづくり企業のDXを推進するとともに、未来技術を活用した製品等の研究開発を促進する。
イノベーション・エコシステム形成	とくしま経済飛躍ファンド	国・県・金融機関等の出資により造成した「とくしま経済飛躍ファンド」を活用し、徳島の強みを活かした、本県ならではの新品・技術開発、販路開拓等に対する支援を実施した。	・ファンド事業支援:5件	ファンドの運用益を活用し、県内中小企業等の新製品・技術開発、販路開拓等の取組を支援するとともに、県内大学が持つ技術シーズの事業化に向けた支援を行う。
最先端研究からの社会実装・人材育成の支援	次世代光による地方大学・地域産業創生加速化事業	大学等への進学や就職などを理由に若者が都市部へ流出している現状に歯止めをかけるため、国の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、次世代LED応用製品の開発や、光応用専門人材育成等、「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」の取組を推進した。	次世代光に関する研究の推進 ・企業との共同研究:3件	社会情勢や産業界のニーズに応じて取り組む必要があるため、産学が連携する次世代LED応用製品開発を支援する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

時代のニーズに応える事業展開等を通じた新産業の創出やグローバル展開の促進

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況

KPI	指標の説明/設定の考え方・得られる成果	2022(R4) 実績(基準)	2025(R7) 実績	2028(R10) 目標		状況	分析	出典名
12-5:奨励指定による 立地企業数(累計 (2024-))	県奨励指定により立地した企業の件数 2022年度の実績値(9件)を踏まえ、継続的に毎年9件の増加を目指し、目標値を設定 この目標達成により、本県経済の活性化及び雇用の確保に寄与	9件	累計 18件	45件		順調	・景気の緩やかな回復を受け、堅調な企業投資と地元雇用の促進が行われた。	県調べ

■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
立地優遇制度を活かした企業誘致	企業立地促進事業費補助金	県内への企業立地を促進し、地域経済の活性化・雇用の創出・産業集積を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数 ・企業立地促進補助金:6件 ・ふるさとクリエイティブ・SOHO補助金:3件	原材料・エネルギー価格の上昇、昨今の中東情勢の影響がある中ではあるが、企業には将来を見据えた投資意欲が見られることから、引き続き、企業ニーズに応じた制度の構築を図りながら、積極的な企業誘致を展開する。
	情報通信関連事業立地促進費補助金	情報通信関連企業の立地を促進し、地域産業の情報化の推進と雇用の場の確保を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数:1件	

徳島新未来創生総合計画 評価シート

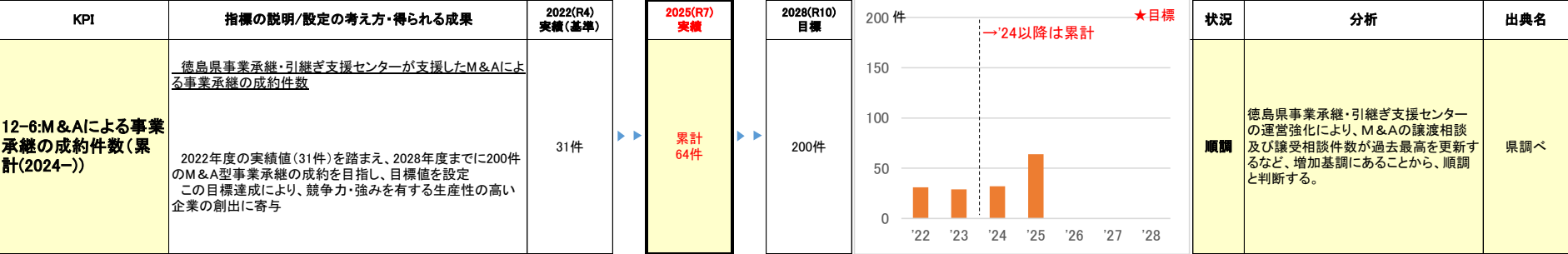
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

事業継承の円滑化による地域産業の持続的な成長発展

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
M&Aをはじめとした事業承継の推進	M&A型事業承継促進事業	生産性の向上や販路拡大、経営基盤の強化など県内企業の成長戦略としてのM&Aを促進するため、経済団体や金融機関等からなる「徳島県M&A型事業承継促進コンソーシアム」による機運醸成や「徳島県事業承継・引継ぎ支援センター」によるエリアごとの個別相談会、「成長型M&A促進応援金」の創設など、案件の「掘り起こし」から「マッチング」までトータルで支援した。	事業承継件数(R6:82件→R7:99件) 【内訳】 M&A件数 (R6:32件→R7:32件) 親族内件数 (R6:50件→R7:67件)	徳島県事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数は年々増加傾向にあるものの、本県における後継者不在率や休廃業・解散件数の増加率などが依然高い水準となっていることが課題。令和8年度は、「M&A型事業承継加速化事業」により、M&A・事業承継の機運醸成に努めるとともに、マッチングを促進する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

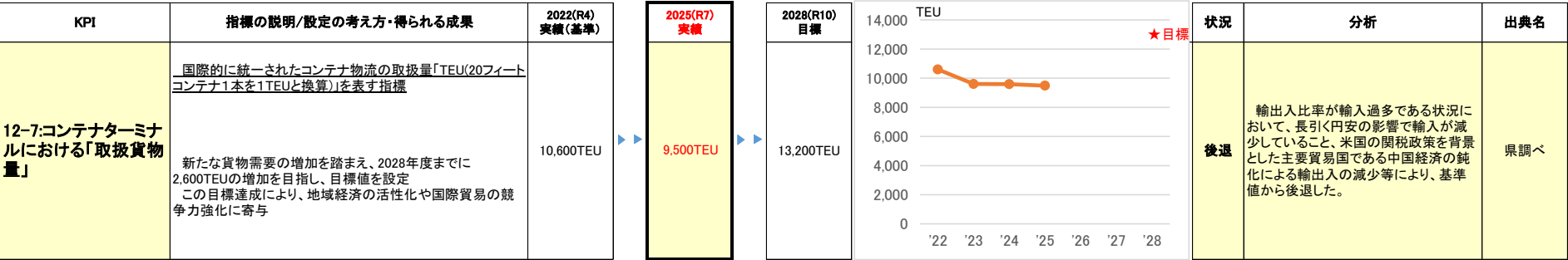
魅力度UP

戦略12 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

■目標となる将来像

地域産業の国際競争力の強化と安全で効率的な貨物輸送の確立

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
・岸壁延伸 ・ガントリークレーン製作 ・ポートセールス	・徳島小松島港赤石地区整備事業 ・徳島小松島港コンテナターミナル航路活性化事業	徳島小松島港(赤石地区)において、コンテナ船および貨物船の3隻同時着岸を可能とする国直轄事業による岸壁延伸とともに、県事業によるガントリークレーンの製作を推進した。 また、企業のコンテナ貨物輸送に要する経費を補助することで、利用拡大を支援した。 さらに、荷主企業と船社をつなぐ「マッチングセミナー」を開催し、新たな輸送コンテナ創出や利用拡大を図った。	・ガントリークレーン1基 ・航路活性化事業の支援実績5社 ・マッチングセミナー参加企業・団体13社	現在は、令和12年度の岸壁延伸部の供用に向け、令和8年度の岸壁暫定完成及びガントリークレーンの完成を目指し、着実に整備を進めている。 また、新たに創設した「トライアル運航利用支援」事業の実施や、船社及びコンテナ関連団体との共催セミナーなど、新たな荷主の獲得や利用拡大を図る。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

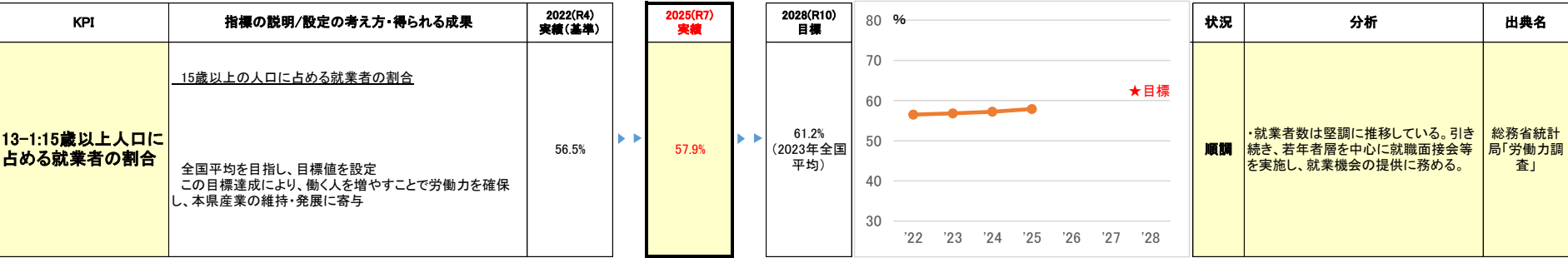
魅力度UP

戦略13 労働力・後継者不足対策の推進

■目標となる将来像

企業と個人のマッチ度向上による県全体の生産性向上

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
幅広い分野と連携した就労支援	とくしまジョブステーション運営費	若年者、UIJターン希望者等の就職を支援するため、就業相談、職業紹介等の雇用関連サービスなどをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」の運営を行った。	○とくしまジョブステーションを活用した就職率：52.6%	とくしまジョブステーションが運営する県の就職支援サイト「ジョブナビとくしま」の機能を活かし、県内外の学生や求職者への県内就職に関する情報発信を行うとともに、ハローワークと連携し、県内就職を促進する。
外国人材トータルサポート	とくしま外国人雇用トータルサポート事業	日本語の習得をはじめとしたスキルアップ講座の実施、外国人求職者を対象としたキャリアフェア(就職面接会)の開催、コーディネーターによる労働相談の窓口設置等きめ細やかな支援を行った。	○キャリアフェア外国人参加人数：20人 ○労働相談件数：523件 ○就職決定人数：10人	今後、外国人労働者の増加が見込まれる中、外国人材の就労・定着の支援について、これまで以上に取組を強化していく必要があるため、就労相談から就職までの包括的な支援を実施するとともにマッチングの機会を拡充する。
インターンシップの推進	とくしまワーク体感事業ネクスト+	学生と県内企業の若手職員との個別交流会開催や、インターンシップツアーの開催により、県内企業の魅力を発信し、県内企業への就職を促進した。	○個別交流会参加者数：50名 ○就業体験ツアー参加者数：14名 ○就職面接相談会：20名	本県は就職や進学を契機とした若者の県外流出が顕著となっていることから、就業体験を通して徳島でのキャリアイメージを具体的に喚起できるよう、インターンシップコーディネーターの配置や大学と連携等により若者のインターンシップを推進する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

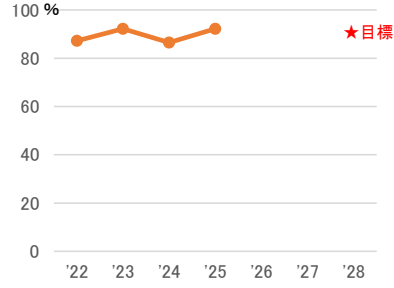
魅力度UP

戦略13 労働力・後継者不足対策の推進

■目標となる将来像

技術革新やビジネスモデルの変化に対応し、県民が主体的にキャリアを形成する環境の実現

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況

KPI	指標の説明/設定の考え方・得られる成果	2022(R4) 実績(基準)	2025(R7) 実績	2028(R10) 目標		状況	分析	出典名
13-2:テクノスクール施設内訓練生の就職率	県立テクノスクール施設内訓練生の就職率 職業能力開発計画策定時において、直近5力年の平均就職率88.6%を参考に、それを上回る就職率を目指し、目標値を設定 この目標達成により、就職率が向上し、産業界への技能者の供給が促進されることで、本県産業の維持・発展に寄与	87.0%	92.2% (R8.5.25現在。確定は7月中旬)	90%		順調	・各テクノスクールに1名ずつ配置しているキャリアサポート推進員によるきめ細やかな就職支援や企業訪問によるマッチングの強化により、対前年度比で5.7ポイントの増となった。	県調べ

■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
県立テクノスクール公共職業訓練の充実	養成訓練費	テクノスクールにおいて、新規学卒者等を対象とし、新たに職業に就くために必要な基礎的職業訓練を実施し、産業界の要望する技能者を養成した。	・テクノスクール施設内訓練生:115人 ・就職率:92.2%	人口減少や若年者の県外流出により、テクノスクールにおいても入校者数が減少傾向にある。一方、生成AIをはじめとするデジタル技術が急速に進歩し、「人にしかできない仕事」を担う技能者の重要性がより一層、高まっている。 このような中、産業界のニーズを踏まえ、令和9年4月からテクノスクールを再編し、企業の生産性向上に貢献できる「高度な技能者」や、デジタル技術等の「複数分野の技能」を併せ持つ技能者の育成に取り組む。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

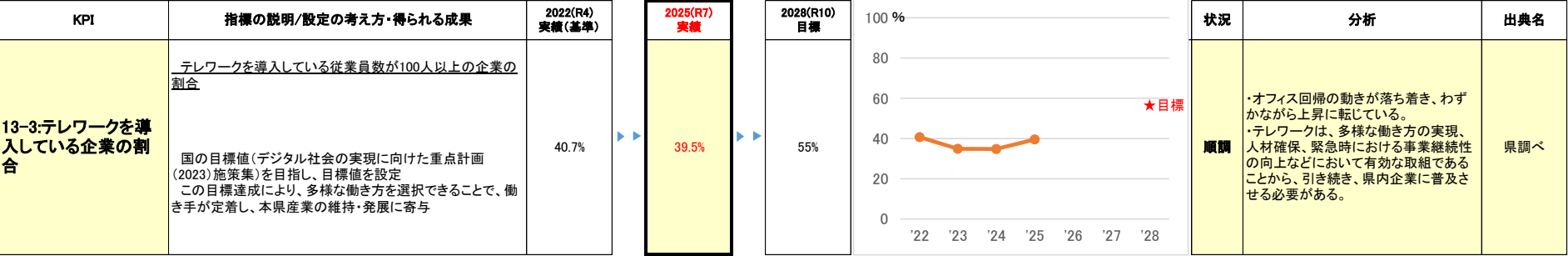
魅力度UP

戦略13 労働力・後継者不足対策の推進

■目標となる将来像

働きたい人全てが、家庭・地域生活等と職業生活を両立し、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
魅力ある職場づくりの推進	魅力ある職場づくり支援事業	テレワークをはじめとした多様な働き方の導入や、若者や女性に選ばれる職場環境づくりなど、県内中小企業・小規模事業者における、労働者の多様なニーズを踏まえた福利厚生制度の充実による「魅力ある職場づくり」を支援した。	○支援件数 83件	多様な働き方ができる職場環境の更なる拡大に向け、就業規則等の整備支援に併せて、テレワーク環境の整備など、快適な職場環境の整備支援を実施する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

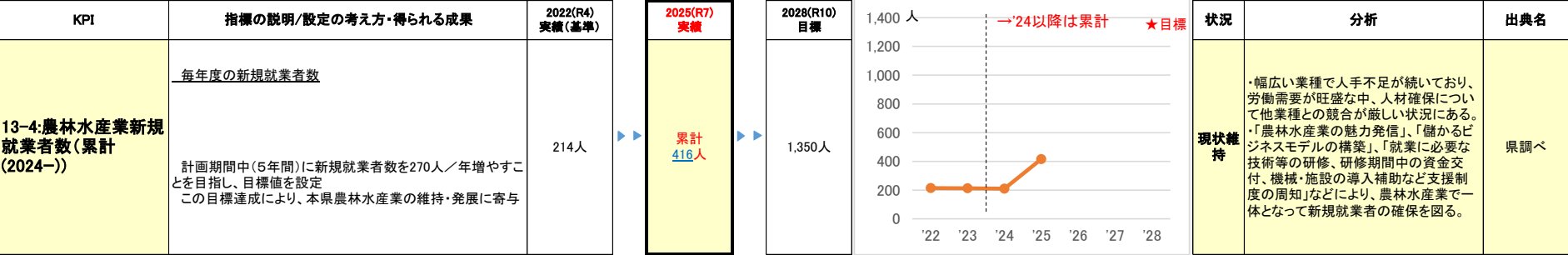
魅力度UP

戦略13 労働力・後継者不足対策の推進

■目標となる将来像

農林水産業が働きやすい職場・魅力ある産業と認知されるとともに、多様な働き手の活躍やデジタル技術による生産性の向上等が図られ、成長する産業へと発展している。

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果			課題及び今後の取組の方向性
ワンストップでの支援	農山漁村「経営・労働力スマート解決！」展開事業	経営感覚に優れた担い手や多様な働き手の育成・確保につなげるため、普及指導員の巡回指導やワンストップ窓口を通じて、就農相談から経営発展まで各段階の経営改善や法人化等を促進するとともに、農福連携や外国人材の活用を支援した。	○試行的に農福連携を実施した農業経営体数:2経営体 ○就農相談対応者数:80経営体 ○重点指導農業者数:53経営体 ○重点指導対象掘り起こし者数:111経営体		農業分野の労働力として増加傾向にあり、重要性が増している隙間バイト、農業法人と外国人材に係る施策をさらに推進する。
	フォレストワーカー定着支援事業	木材生産や植林等に必要な「林業事業体の育成」及び「林業従事者の確保・定着」を図るため、起業や他産業からの参入、事業体運営等に関する課題や従事者からの悩みに対応する相談窓口を設置するとともに、新規就業者の定着率向上に向けたメンターサポート等の取組を実施した。	相談窓口の開設 アンケート調査の実施 面談の実施		新規就業者の定着率向上のため、相談窓口の設置について、積極的にPRするほか、就業者の定着率の向上に向けて、継続的なアンケート調査や面談を実施する。
人材育成拠点の再構築・運営	未来を拓く！人材育成「とくしま農林水産チャレンジセンター」展開事業	農林水産業の次代を担う人材の育成・確保を加速するため、「とくしま農林水産チャレンジセンター」において、時代のニーズに応じたリスキリング研修を展開し、高度な技術・経営力の習得を支援した。	農業リスキリング修了者数:271人 林業リスキリング修了者数:33人 漁業リスキリング修了者数:94人		「充実した研修制度」の実践が不可欠であり、DX、GXや法人化、外国人材の活用など技術・経営の両面で、時代に適合したカリキュラムを実施するとともに、受講生の確保に向けた広報に努める。
	農大運営費	次代を担う農業者を育成・確保するため、農業大学校本科において、農産物の生産から加工、販売までの実践を中心とした農業教育を実施した。	農業大学校本科卒業生:21人		カリキュラムの充実や県内農業高校・高等教育機関との連携等に加え、新設する「あり方検討会」での議論を踏まえ、産地ニーズに直結する教育プログラムの再編成や多様な人材の確保、卒業後の就農支援体制の構築により、農業教育機関としての機能強化を図る。
	とくしま漁業アカデミー運営事業	浜を支える意欲ある担い手を育成・確保するため、誰もが漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」の運営を支援した。	とくしま漁業アカデミー修了者数:15人		高齢化の進行等による人材不足が課題であり、引き続き、本県漁業の魅力発信に取り組み、漁業担い手の安定的な確保を図る。

人材育成拠点等と連携した効果的な交付金の活用	新規就農者育成総合対策事業	次代を担う農業者を育成・確保するため、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付するとともに、就農後の経営発展に必要な機械・施設の導入を支援した。	就農準備資金交付:12人 経営開始資金交付:166人 機械・施設の導入支援:19人	就農意欲の喚起、就農後の定着・経営発展のため、引き続き制度の周知に努め、活用を促進する。
	緑の青年就業準備給付金事業	林業の担い手確保を図るため、「林業アカデミー」の研修生が、安心して研修に専念できるよう給付金を交付した。	○とくしま林業アカデミー研修生:10人 ○三好林業アカデミー研修生:3人 ○給付金交付人数:10人	新規就業者の確保と定着率の向上のため、魅力あるカリキュラムの実施により、研修生の確保を図る。
	とくしま漁業アカデミー活性化支援事業	とくしま漁業アカデミー研修生を対象に、国及び本県独自の支援制度を活用し生活給付金を交付した。	生活給付金交付:5人	安心して漁業就業を目指すことができる環境を醸成するため、国等の支援制度を活用し、漁業の担い手の安定的な確保につなげる。
	浜の担い手育成支援事業	独立して漁業を営む新規就業者による漁船漁具の購入について、漁業担い手確保に取り組む漁協を通じて支援した。	支援金給付:7人	より多くの新規就業者を支援するため、漁協への説明会などで事業の活用について十分な説明を行うとともに、就業から定着に向け一貫したサポート体制の構築を目指す。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

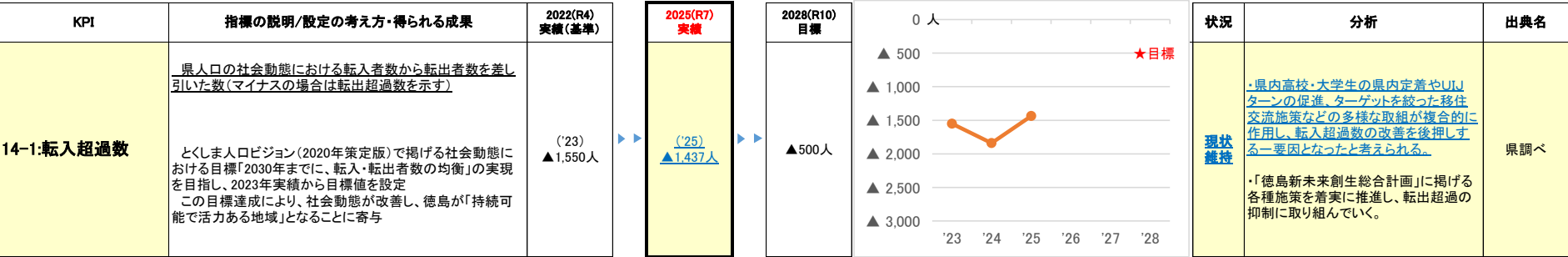
魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

■目標となる将来像

持続可能で活力ある地域づくり

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
移住支援策の推進	住んでみんで徳島で！移住交流拡大事業	市町村と連携し、本県への移住を促進するため、都市部で開催された全国規模の「移住フェア」へ参加したほか、県単独移住フェアを東京・大阪で実施した。また、移住希望者を対象とした「とくしま帰郷セミナー」において、とくしま暮らしの魅力を発信した。	○全国フェアへの出展：7回 ○県単独移住フェア開催：東京R8.1.17、大阪R8.2.21 ○とくしま帰郷セミナー実施：11回 ○移住者数：3,360人 ○移住相談件数：4,198件	首都圏や大阪圏でのプロモーション及び移住フェアやSNS等で移住検討者に訴求する情報発信を行い、移住先として本県の認知度向上を図る。
若者の定住・Uターン促進	「とくしま若者帰郷」飛躍プロジェクト	若者目線による「とくしま帰郷」の機運を醸成するため、徳島ゆかりの若者を「とくしま若者帰郷アンバサダー」に委嘱するとともに、SNS等を活用し、本県の魅力や就職・県内企業情報等の発信を強化した。	○AWAIRO@LINE登録者数：6,797名 ○InstagramAWAIRO登録者数：2,769名	若者の利用率が高いInstagramに情報発信を集約し、本県の魅力や就職イベント、企業情報等の発信を行うことで、「移住」と「しごと」の両輪で若者のとくしま帰郷を促す。
奨学金返還支援制度を活用した県内就職促進	「とくしま帰郷」加速・産業人材支援事業	大学生等の県内における就業を促進するとともに、若者の県内定着を図るため、大学等を卒業後に県内事業所で一定期間就業した際に、奨学金の返還を支援する「徳島県奨学金返還支援制度」の助成候補者を認定し、「徳島県奨学金返還支援基金」を積み立てるとともに、実際に一定期間就業した者に対し、奨学金返還支援を行った。	○奨学金返還支援の補助金交付実績：491人	国の給付型奨学金が拡充されたこと等の影響により、助成候補者の応募者数が募集定員を下回っている状況。 令和7年度募集から支援金額の上限引き上げ等の制度拡充を行ったところであり、引き続き大学や経済団体等と連携した積極的な制度の周知を図り、対象者にもれなく制度が行き渡るよう努める。
キャリア教育の充実	「ふるさととくしま」を知る・考える機会創出プロジェクト	高校生に県内就職や地元での定着を意識させるため、各種経済団体等の関係機関と連携し、生徒が県内企業における仕事内容を知り、県内企業の魅力や強みに気づくとともに、勤労観や職業観を育成する機会を設けた。	○「高校生企業見学バスツアー」：14人 ○「教員対象企業見学バスツアー」：37人 ○「企業と学校との情報交換会」：高校教員39人、企業42人	高校生及び高校教員に県内企業の良さを更に認知してもらう必要があるため、今後はさらに事業内容の周知や内容の充実に取り組む予定。
立地優遇制度を生かした企業誘致	企業立地促進事業費補助金	県内への企業立地を促進し、地域経済の活性化・雇用の創出・産業集積を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数 ・企業立地促進補助金：6件 ・ふるさとクリエイティブ・SOHO補助金：3件	原材料・エネルギー価格の上昇、昨今の中東情勢の影響がある中ではあるが、企業には将来を見据えた投資意欲が見られることから、引き続き、企業ニーズに応じた制度の構築を図りながら、積極的な企業誘致を展開する。
	情報通信関連事業立地促進費補助金	情報通信関連企業の立地を促進し、地域産業の情報化の推進と雇用の場の確保を図るため、県内に立地した企業に対する支援を行った。	○奨励指定件数：1件	

M&Aをはじめとした事業承継の推進	M&A型事業承継促進事業	生産性の向上や販路拡大、経営基盤の強化など県内企業の成長戦略としてのM&Aを促進するため、経済団体や金融機関等からなる「徳島県M&A型事業承継促進コンソーシアム」による機運醸成や「徳島県事業承継・引継ぎ支援センター」によるエリアごとの個別相談会、「成長型M&A促進応援金」の創設など、案件の「掘り起こし」から「マッチング」までトータルで支援した。	事業承継件数(R6:82件→R7:99件) 【内訳】 M&A件数 (R6:32件→R7:32件) 親族内件数 (R6:50件→R7:67件)	徳島県事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数は年々増加傾向にあるものの、本県における後継者不在率や休業・解散件数の増加率などが依然高い水準となっていることが課題。令和8年度は、「M&A型事業承継加速化事業」により、M&A・事業承継の機運醸成に努めるとともに、マッチングを促進する。
「持続的な生産性向上・質上げ」	質上げ応援！生産性向上投資促進事業費補助金	厳しい経営環境を克服し、DXによるビジネスモデルの変革を促進するため、生産工程やサービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資に取り組む中小・小規模事業者に対する支援を行った。	○交付決定件数:39件	引き続き、関係団体と連携し、中小・小規模事業者の生産性向上支援に取り組む。
	質上げ環境整備促進事業費補助金	生産性の向上や成長力の強化を図り、持続的な質上げの実現に向けた取組を促進するため、策定した経営計画に基づく設備投資等に取り組む中小・小規模事業者に対する支援を行った。	○補助件数:312件	引き続き、関係団体と連携し、中小・小規模事業者の生産性向上支援に取り組む。
	徳島県質上げ応援サポート事業	国の「業務改善助成金」を活用し、設備投資等の生産性向上に取り組む、事業場内の最低賃金引上げを行う中小・小規模事業者を対象に、県独自の上乗せ助成を行った。	○助成件数:340件	引き続き、生産性向上と事業場内の最低賃金引上げを行う中小・小規模事業者を支援する。
幅広い分野と連携した就労支援	とくしまジョブステーション運営費	若年者、UIターン希望者等の就職を支援するため、就業相談、職業紹介等の雇用関連サービスなどをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」の運営を行った。	○とくしまジョブステーションを活用した就職率:52.6%	とくしまジョブステーションが運営する県の就職支援サイト「ジョブナビとくしま」の機能を活かし、県内外の学生や求職者への県内就職に関する情報発信を行うとともに、ハローワークと連携し、県内就職を促進する。
外国人材トータルサポート	とくしま外国人雇用トータルサポート事業	日本語の習得をはじめとしたスキルアップ講座の実施、外国人求職者を対象としたキャリアフェア(就職面接会)の開催、コーディネーターによる労働相談の窓口設置等きめ細やかな支援を行った。	○キャリアフェア外国人参加人数:20人 ○労働相談件数:523件 ○就職決定人数:10人	今後、外国人労働者の増加が見込まれる中、外国人材の就労・定着の支援について、これまで以上に取組を強化していく必要があるため、就労相談から就職までの包括的な支援を実施するとともにマッチングの機会を拡充する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

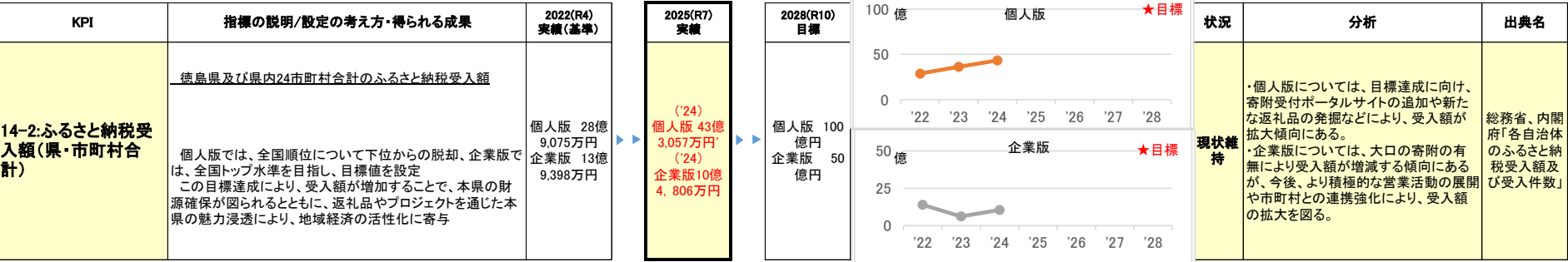
魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

■目標となる将来像

徳島と強い絆で結ばれ、選ばれる地域の創出

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
個人版ふるさと納税の取組 拡大	ふるさと納税拡大戦略推進 事業	<u>ふるさと納税業務の委託先である中間管理事業者が持つ専門的な</u> ノウハウを活用し、地域の特色・特産を活かした返礼品の掘り起こし・開発を行った。また、寄附用ポータルサイトにおいて、各返礼品ページの写真や記事のブラッシュアップ、 <u>多くの閲覧者に見ていただけるよう</u> 、検索連動型PR枠の活用などのSEO(検索エンジン最適化)対策をはじめ、県外の方に向けて、返礼品を通じた本県の魅力が十分伝わるよう、内容を工夫し発信を行った。 <u>さらに</u> 、2月より県と市町村が共に、県全体の寄附額底上げを図ることができる仕組みとしてドリームチーム(市町村連携型ふるさと納税)制度を開始した。	('25) 集計中	本県において拡がりつつある市町村間格差の是正を図りながら、県全体での寄附額の底上げを図る。 IGAT及びふるさと納税中間管理業務の委託事業者と連携し、魅力的な返礼品の開発や、市町村連携型ふるさと納税制度であるドリームチームの運用の弾力化(出品数制限の緩和)、また、県や返礼品の認知度向上のため、首都圏で行われる阿波おどりイベントでのプロモーションを実施する。
企業版ふるさと納税の取組 拡大	ふるさと納税拡大戦略推進 事業	企業の社会貢献やPRに繋がる「魅力的なプロジェクト」の創設と本県の取組のマッチングに向け、 <u>プロジェクト集の作成</u> や県外企業に対する <u>担当所属及び県外本部による直接訪問を行うなど</u> 、効果的な情報発信や積極的な営業活動を行った。	('24) 寄附件数 : 232件	企業と本県のマッチング機会を創出するため、 <u>企業版においても、新たに中間管理事業者への業務委託を開始し、民間の専門的なノウハウを導入するとともに、引き続き</u> 県人会や市町村ふるさと会など本県とゆかりのある団体や企業との <u>継続的な関係構築</u> に努め、寄附 <u>受入</u> 額の拡大につなげる。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

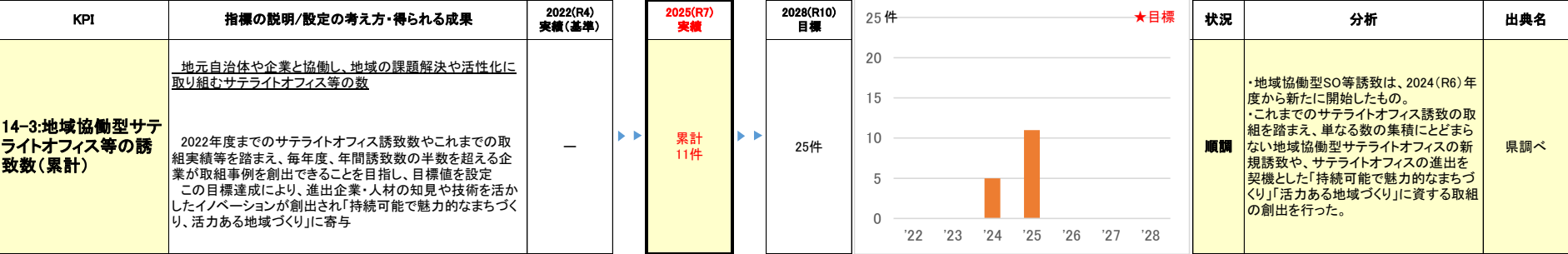
魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

■目標となる将来像

地域の課題解決の実践による活力創出

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
サテライトオフィス等の集積加速	地域課題解決共創推進事業	企業からの視察受入れや進出相談など細やかな受入れ体制を整えるとともに、プロジェクトの広報活動を行い、地域課題解決につながるサテライトオフィス誘致を促進した。	○地域協働型サテライトオフィス等 ・誘致数6件(新事業展開含む)	コロナ禍を経てリモートワーク等、企業の働き方の見直しが進み、進出(検討)企業の地域への関わり方が多様化している。 引き続き、企業の進出検討、進出後の定着を切れ目なく支援することで地域協働型サテライトオフィスの誘致を推進する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

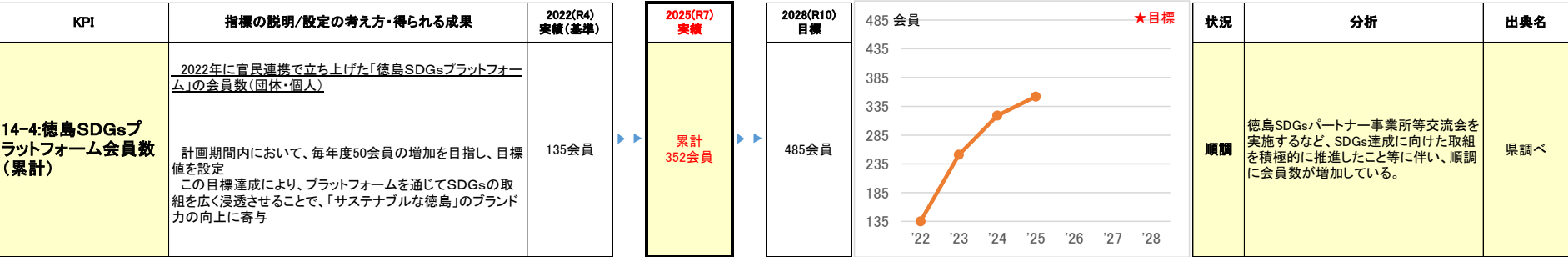
魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

■目標となる将来像

SDGsの取組を広く浸透させることで「サステナブルな徳島」のブランド力が向上される

■KPI((重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
「徳島SDGsプラットフォーム」を核とした普及啓発	オール徳島SDGs推進事業	自治体や企業、個人などで組織する「徳島SDGsプラットフォーム」での相互の情報発信による「学びや連携」の機会を創出するとともに、事業者間の課題を共有し、新たな取組につなげる場とする「徳島SDGsパートナー事業所等交流会」を開催した。	・交流会の開催:3回	継続的な広報と連携により会員数の拡大を図るとともに、事業者の取組が広がるよう会員間の交流機会を創出する。

徳島新未来創生総合計画 評価シート

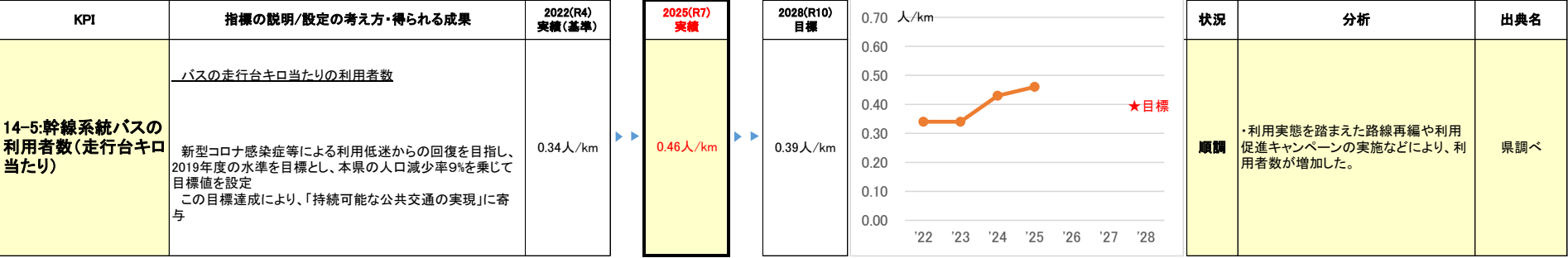
魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

■目標となる将来像

県内の様々な地域において、最適化された多様な移動手段が連携され、利便性の向上と利用促進の好循環が生み出す持続可能な公共交通ネットワークが構築されています。

■KPI(重要業績評価指標)の進捗状況



■前年度(R7)の主な取組

具体的な取組	主要事業名又は取組	主要事業内容及び成果		課題及び今後の取組の方向性
公共交通ネットワークの充 実	次世代地域公共交通ビジョ ン実装事業	利用実態に応じたバス路線の再編や新たな運行形態の導入、交通結節点の環境整備に取り組んだ。	●バス路線の再編等 ・R7.10月4路線について、利用実態を踏 まえた再編を実施 ・R8.3.17主要バス路線で交通系ICカード ICOCAのサービス開始 ●新たな運行形態の導入 ・阿南市岩脇地区での乗合タクシー実証 や鳴門市大麻地区での社会福祉法人と 連携した移動支援実証事業の実施 ・鳴門市西部エリアを中心とする自動運 転タクシー実証運行の実施 ・牟岐線(牟岐～海南間)におけるモー ダルミックス実証実験 など ●担い手の確保支援 ・路線バス事業者、タクシー事業者の人 材確保の取組への支援の実施	幹線系統バスの利用実態に応じた路線再編や交通系ICカードの 導入など、公共交通の最適化、利便性向上、利用促進を図り、地 域公共交通の維持・存続に取り組む。

公共交通の利用促進に向けた新たな需要の創出	未来へ続く「鉄道ネットワーク」事業等	利用啓発イベントの開催やDMVとの連携などにより、地域公共交通の利用促進に取り組んだ。	●利用啓発関係イベントの実施 ・四国新幹線県民機運醸成イベント(R7.7.21) ・交通エコライフキャンペーン(R7.10.18) ・勝瑞駅活性化プロジェクト ●DMVの活用 ・鉄道フェスティバル(東京)車両展示(R7.10.11,12) ・運転体験ツアー(R7.4.18) など ●利用促進に関する取組 ・夏休みこども1日フリー乗車券(4,829枚) ・訪日外国人向け路線バスフリー乗車券(1,037枚)	公共交通の利用に繋がるイベントの実施や企画乗車券の販売などの取組を継続的にを行い、地域公共交通の利用促進に取り組む。
-----------------------	--------------------	---	--	--